

全天候型こどもの遊び場施設「ごとう わくわくフィールド（仮称）」

整備基本構想（素案）

令和 7 年 9 月

五島市

～目次～

1. 基本構想策定の背景・目的.....	1
2. こども・子育てを取り巻く現状と課題.....	3
3. 子育て世帯等へのニーズ調査.....	6
(1) 子育て世帯のアンケート調査.....	8
(2) 五島市保育会 主任保育士との意見交換まとめ.....	14
(3) 子育て相談室「歩む」へのヒアリングまとめ.....	16
4. 基本理念（コンセプト）.....	17
5. 与件整理.....	19
(1) 施設機能の検討.....	20
(2) 施設の規模、面積の検討.....	21
(3) 年齢別の遊び場の検討.....	22
6. 候補地分析・選定.....	26
(1) 整備手法の検討.....	27
(2) 既存施設の活用検討.....	28
(3) 新設の検討.....	34
7. 最終候補地の選定.....	39
(1) 理由.....	40
(2) 位置図.....	42
(3) 配置図.....	43
(4) 平面図.....	44
(5) イメージパース.....	46
(6) スケジュール.....	48
8. 運営、管理計画.....	49
(1) 管理運営の基本的な考え方.....	50
(2) 周辺施設との連携.....	51
(3) 開館時間、休館日、利用料金のイメージ.....	51
(4) イベントの企画・関連施設との連携の検討.....	52
(5) 管理費（ランニングコスト）.....	53
9. 参考資料.....	55
(1) 五島市の現状（人口推移）.....	56
(2) 市民アンケート（自由意見）.....	59

1. 基本構想策定の背景・目的

1 基本構想策定の背景・目的

五島市では、近年 UI ターン者数は増加傾向にあるものの、出生数は減少しており、人口減少、少子高齢化が著しく進んでいます。

今後、五島市が、人口減少抑制と地方創生を実現していくためには、若者の島外流出の抑制や UI ターンによる社会動態の改善、出生率の向上や健康寿命を延ばすことによる自然動態の改善を図ることが重要であり、現在、「第 3 期五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」に基づき、取り組みを進めています。

子育て支援では、「結婚、出産、子育て支援プロジェクト」として、出会いから、妊娠、出産、子育てにかかる切れ目のない支援をテーマに子育てしやすい島づくりを目指しております。

具体的な内容として、結婚支援では、結婚を望む若者への気軽な出会いや交流の場づくり、スキルアップセミナーなど出会いから結婚へ円滑に進むよう支援をしております。

妊娠期から出産、子育て期においては、保健師、助産師等の専門家をはじめ、医療、保育、学校などあらゆる機関と連携しながら、安心して子育てができるよう、包括的な支援を行っています。

また、医療費の助成や多子世帯の保育料の軽減など、子育て期の経済的な負担軽減に努めるとともに、妊婦、乳幼児に対する各種健康診査や子ども相談、産後ケアなど様々な機会を通して、母子の健康管理、心身のケア、子どもの発達などきめ細かな伴走支援を行っています。

その他、仕事と子育ての両立ができるよう保育園、こども園への運営支援を行うとともに放課後児童クラブなど地域における保育体制の整備、充実を図っております。

そのような中、少子化による影響は、子どもたちが普段遊ぶ環境にも大きな変化をもたらしています。令和 6 年 8 月に実施した「第 3 期五島市子ども・子育て支援事業計画」策定にかかるアンケートでは、子どもの日中の遊び場所の 75.5%が自宅であり、公園 13.6%と大きく差がある状況であります。また、遊び場で困ること、困ったことの 86.4%が雨の日に遊べる場所がないという結果でした。

地域では、学校の統廃合が進み、同年代の子どもが少ない地域もでてきています。そのような地域では、子ども同士が近所で遊ぶことが難しくなり、親が、公園、友達の家など遊ぶ場所まで連れていかなければ、子ども自身が、同年代と気軽に遊ぶことができなくなってきております。

今回の基本構想の策定にあたっては、このようなアンケート結果をはじめ、子育て世代からの「雨の日でも、思いきり体を動かして遊べる施設が欲しい!」という声や、ここ数年の猛暑、寒波などの影響により、子ども達が外で遊ぶことの制約が大きいことなどを踏まえ、これからの五島市の子どもたちにとって、どのような遊び場がふさわしいかについて、基本的な考えや整備内容などを素案として整理し、市民の皆さまからのご意見をいただき、取りまとめるものであります。

2. こども・子育てを取り巻く現状と課題

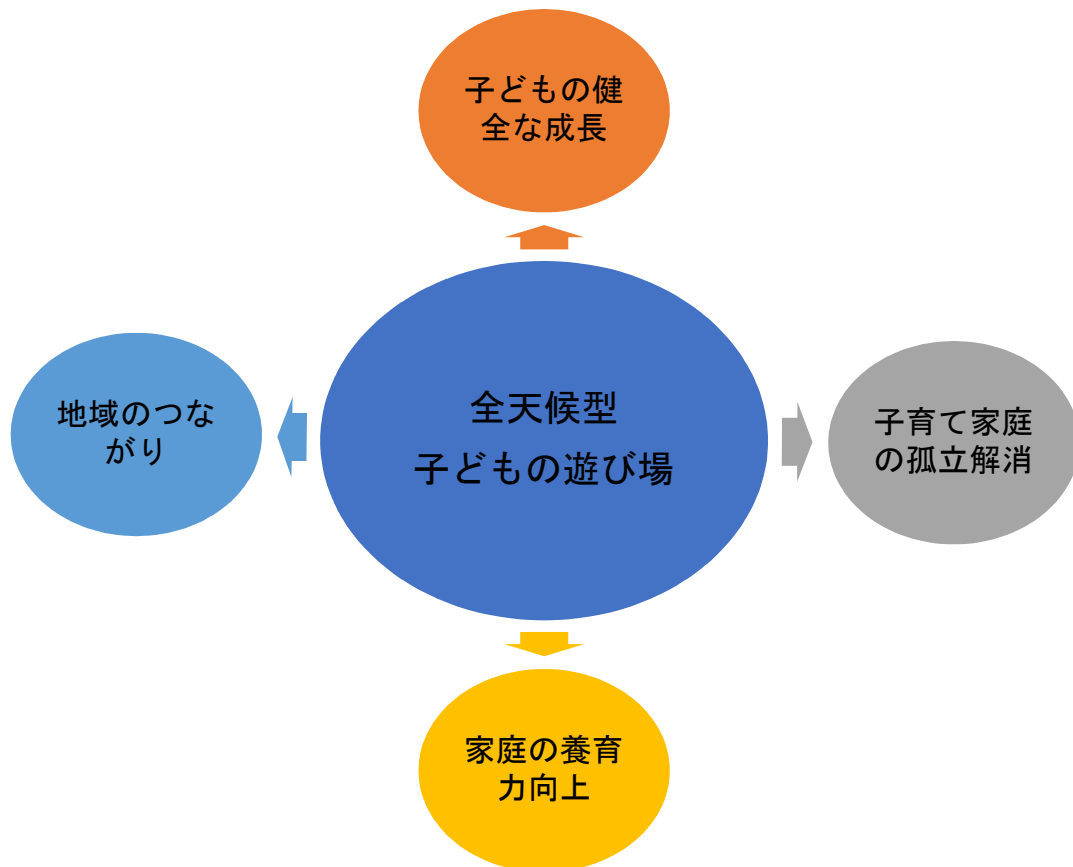
2 子ども・子育てを取り巻く現状と課題

近年、核家族化、少子高齢化の著しい進行や長引くコロナ禍の影響など、子育て家庭を取り巻く現状は、大きく変化しております。

特に、これまで地域では、子育てや子どもの見守りなど協力して行ってきましたが、最近では、地域住民同士の関係が疎遠になるなど、孤立する子育て家庭がでてきております。結果、家庭の養育力低下、子どもの成長や発達への影響など様々な課題、問題点が浮き彫りになってきている状況です。

今回、全天候型子どもの遊び場の整備にあたり、このような課題を併せて解決していくことで、五島市が子育てしやすいまちとして魅力を向上させ、出生数の改善や地域の活性化につなげていかなければならないと考えています。

【課題解決イメージ】



● 子育て家庭の孤立

【現状・課題】

- 近所や地域の方々との交流が少なく、地域とのつながりが薄くなっている。子育て中の親が孤立することのないよう、相談支援や交流の場を提供していく必要がある。
- 育児や教育に対する不安を抱える保護者がいる中で、日常的に頼れる人がいないという家庭が増えている。

・日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか

- ➡ 子育てによる身体の疲労が大きい 32.0%
- 保護者同士の交流・付き合いが少ない 14.3%
- 配偶者・パートナーの協力が少ない 8.8%
- 話し相手や相談相手、協力者がいない 4.1%

● 育児の悩みなど気軽に相談できる人がいない

【現状・課題】

- 相談したいとき、どこに相談すればよいのかわからない。

・お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）

- ➡ いない（ない） R2 3.7% ⇒ R6 12.9%

- 乳幼児から小、中、高と子どもが大きくなるにつれ、子育てに関する悩みを気軽に相談できるところがない（わからない）。

・お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先（家族や友人・知人等を除いて）は誰（どこ）ですか

- ➡ 保育所 53.7%、認定こども園 29.3%、市こども未来課 10.9%…

● 子どもの居場所・遊び場に苦勞している

【現状・課題】

- 雨の日でも遊べる子どもの遊び場が少ない。
- 放課後や学校が休みの日に児童、生徒等が望む遊び場や居場所の確保

・放課後や学校が休みの日に、家や学校の近くにあったらいいと思う場所（複数回答）

- ➡ スポーツや外遊びなど身体を思いっきり動かせる場所 小学生 54.1% 中学生 62.5%
- 雨の日でも自由に遊べたり、体験活動ができる場所 小学生 47.5% 中学生 46.7%
- 友人がたくさん集まってくるような場所 小学生 45.9% 中学生 46.1%

- 地域の大人との工作や外遊び、体験活動等を通して、子どもたちの自主的な活動（学習・遊び等）や社会性を身につける場や機会の提供が必要。

・PTA連合会との意見交換

- ➡ 遊びが以前と変わってきている。外で遊ぶのを見なくなってきた。子どもたちの遊ぶ場所が欲しい。地域との交流が増えるように親と子が参加できるイベントを増やす。など

3. 子育て世帯等へのニーズ調査

3 子育て世帯等へのニーズ調査

【ニーズ調査の視点】

ニーズ調査では、子育て世帯をはじめ、保育士など、関係機関にアンケート、ヒアリングを行い、以下の点を明らかにすることで五島市にとってふさわしい全天候型子どもの遊び場の概要を整理します。また、遊び場を通して、五島市が抱える課題を解決する糸口を見出すことにつなげます。

○ 明らかにしたい点

- ・ 子育て世帯が遊び場に求めるものとは ？
- ・ 遊び場の規模、あったらいい機能とは ？
- ・ 遊び場づくりで配慮すべきこととは ？
- ・ 親同士の交流、多世代交流の可能性は ？
- ・ 育児相談がしやすい場づくりとは ？

【ニーズ調査対象者】

調査対象	調査内容	調査手法
子育て世帯	・ 遊びで重要と考える要素 ・ 遊び場に求めるもの、機能等 ・ 年齢別の遊び場について ・ あったらいい遊具	アンケート
市保育会	・ 遊び場に求めるもの、機能等 ・ 遊び場で配慮すべきこと	ワークショップ
子育て相談室「歩む」	・ 遊び場での相談にかかる意見	ヒアリング

(1) 子育て世帯のアンケート調査

■目的：全天候型子どもの遊び場の整備に向け、子育て世帯の声を聴き、基本構想の基礎資料とするため

■対象者：保育所、こども園の保護者、市こども未来課公式LINE登録者

※ 対象者の選定理由：実際に利用する可能性が高い層をターゲットとすることで、全天候型の遊び場に求めるニーズを正確に把握するものであります。

■実施日時：令和7年1月24日～2月7日

■回答数：318件（参考：子育て世帯：2,494世帯（R5子育て応援給付金支給世帯数））

【アンケート結果（概要）】

○ 回答に対する信頼度

子育て世帯2,494世帯に対して318件の回答を得ており、全体の約13%に相当します。この規模は統計的に、調査結果が十分信頼できるものであることを裏付けています。

○ 主な結果

◆子どもの遊びについて、重要と考える要素は？

「体験22%」、「安全性21%」、「自然14%」

◆子どもの遊び場にどのようなことを求めるか？

「身体を使って遊ぶことができる施設24%」

「安全で管理された施設16%」

「元気に走り回ることができる施設14%」

◆あったらいいと思う遊具は？

「0～2歳、安全に遊べるクッション素材やボールプール」

「3～5歳、アスレチック系の遊具」

「共通、広場を大きく走りまわれる」

◆子どもの遊び場にあればいいと思う機能は？

「食事ができるスペース（持ち込み、自動販売機、カフェ等々）」

「ものづくりや普段、家ではできない体験（自然ふれあい、水遊び、砂遊び等々）
・イベント」

「多目的トイレ、幼児用トイレの充実」

「授乳室、おむつ交換スペースなど乳児を安心して連れていける環境」

「コインロッカー（荷物の預かり）」

◆こういった遊び場になればいい！

「新たなネットワークや人間関係が広がる場」

「子どもが異年齢児との遊びを通じてルールや社会性を身に付けられる場」

「子どもも大人も全世代が楽しめる場」

■アンケート結果

1. あなたのことを教えてください

①あなたの性別を教えてください

回答	男性	女性	回答しない	合計
回答数	46	265	7	318

②あなたの年齢を教えてください。

回答	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	合計
回答数	31	197	87	3	0	318

③お住まいの地域を教えてください。

回答	福江地区	富江地区	玉之浦地区	三井楽地区	岐宿地区	奈留地区	合計
回答数	255	25	4	12	18	4	318

④お子様の年齢を教えてください。(複数回答可)

回答	3歳以下	4～6歳	小学生	中学生	合計
回答数	201	161	129	29	520

性別は、83%が女性という結果になりました。年齢別にみた場合、30代が62%、40代が27%となっており、30代～40代で89%となっています。また、回答者の子どもにかかる年齢割合は、3歳以下が39%、4～6歳が31%と就学前児童の割合が70%となっており、子育て世代の中でも特に利用が見込める層の回答であることがわかります。

2. 現在、利用している施設について教えてください。

①お子さまの該当する年齢と子どもと遊ぶためによく利用する施設（屋内、屋外）を教えてください。

回答	公園	中央公園	シティモール	図書館	児童館	子育て支援センター	万葉公園	富江多郎島公園	その他	合計
回答数	91	63	24	19	17	15	14	9	53	307

②現在、雨の日は、主にどのように過ごしていますか？

回答	自宅での遊び	図書館の利用	児童館の利用	民間施設などの利用	その他(具体的に)	合計
回答数	283	14	8	1	12	318

雨の日の過ごし方は、「自宅での遊び」が89%となっています。

3. 「子どもの遊び」について、重要と考える要素は何ですか？(複数回答可)

回答	体験	安全性	自然	交流(多世代、他者とのコミュニティ)	自主性	失敗から学ぶ・育つ	最新遊具	その他(具体的に)	合計
回答数	252	239	164	143	129	128	96	15	1,166

重要な要素として、「体験」が22%、次いで、「安全性」が21%、「自然」が14%となっています。

4. 新しい全天候型子どもの遊び場について、あなたの考えを教えてください。

①どこに施設があると良いと思いますか、該当するものを2つまで選択してください。

回答	駐車スペースが確保され、施設との行き来が容易にできる場所	車で行きやすい場所・道路が整備された場所（離合可能）	自然（海、山など）が近くにある場所	小学校や中学校の近く	周辺に公共機関（バス停）が整備された場所	市役所や支所など公共施設周辺	合計
回答数	292	200	47	19	19	9	586

「駐車スペースが確保され、施設との行き来が容易にできる場所」が50%、次いで、「車で行きやすい場所・道路が整備された場所」が34%となっています。自家用車での移動が主な手段となっている五島市民にとって、車の移動がしやすく、駐車場がしっかりと整備された施設を求める声が多いことがわかります。

②全天候型の子どもの遊び場にどのようなことを求めますか。該当するものを3つまで選択してください。

回答	身体を使って遊ぶことができる施設	安全で管理された施設	元気に走りまわることができる施設	いろいろな体験ができる施設	親が見守りながら遊ばせることができる施設	年齢別や障がいのある子どもなど子どもの発達に応じた施設	食事ができる施設	親子で遊ぶことができる施設
回答数	226	148	136	84	77	61	49	48
回答	イベントが定期的に行われる施設	子どもを任せることができる施設	自然を生かした施設	様々なことを学べる施設	様々な人とコミュニケーションがとれる施設	一人で遊ぶことができる施設	合計	
回答数	33	25	21	19	12	5	944	

「身体を使って遊ぶことができる施設」が24%、次いで「安全で管理された施設」が16%、「元気に走り回ることができる施設」が14%となっています。遊びの重要な要素を問う回答で多かった「体験」、「安全性」と関連性が高い結果となっています。

③全天候型の子どもの遊び場は、年齢ごとに遊ぶ場所を分けることを検討しています。

0～2歳スペースを設けるとした場合、あなたが求めるものを3つまで選択してください。

回答	クッション素材の遊具で遊べる	ボールプールなどで遊べる	広場を大きく走り回れる	知育玩具で遊べる	楽器などがあり音楽を楽しむことができる	野外広場で遊ぶための備品が借りられる（手押し車等）	おもまごなどで遊べる	絵本などを読むことができる	その他（具体的に）	合計
回答数	240	153	142	134	68	64	55	25	20	901

④3～5歳・小学校低学年遊戯スペースを設けるとした場合、あなたが求めるものを3つまで選択してください。

回答	アスレチック系の遊具で遊べる	広場を大きく走り回れる	野外広場で遊ぶための備品が借りられる（三輪車等）	クッション素材の遊具で遊べる	絵を描いたり落書きができる	ボールプールなどで遊べる	楽器などがあり音楽を楽しむことができる	おもまごなどのごっこ遊びができる	その他（具体的に）	絵本などを読むことができる	合計
回答数	280	254	101	63	59	56	51	38	17	5	924

⑤一番あったらいいと思う遊具は何ですか？該当するものを3つまで選択してください。

回答	アスレチック エリア	トランポリン	ボールプー ル	すべり台	ブロックやレ ゴのエリア	クライミング ウォール	ネット遊具
回答数	221	128	103	87	86	82	72
回答	ジャングル ジム	お絵かき コーナー	ターザン ロープ	ブランコ	回転遊具	その他(具 体的に)	合計
回答数	32	29	23	18	12	21	914

0～2歳では、安全に遊べるクッション素材やボールプールを求める声が多く、3～5歳では、アスレチック系の遊具が一番多い結果となりました。また、どちらも「広場を大きく走り回れる」が高い要求結果となりました。

あったらいいと思う遊具の結果と関連性が高く、身体を使って遊べる遊具を求める声が多いことがわかります。

⑥全天候型の子どもの遊び場があれば、お子様がいつ頃まで利用すると思いますか、あてはまるものを1つ選択してください。

回答	3歳以下	4～6歳まで	小学生低学 年まで	小学生高学 年まで	中学生以上	合計
回答数	0	12	128	156	22	318

⑦利用するとしたら主にいつ利用したいですか、あてはまるものを1つ選択してください。

回答	平日午前	平日午後	土日祝日の 午前	土日祝日の 午後	合計
回答数	5	10	175	128	318

土日、祝日の利用希望が、95%という結果となり、土日、祝日の利用が集中するおそれがあることがわかります。

⑧利用したい頻度について、あてはまるものを1つ選択してください。

回答	月1～2回程 度は利用し たい	月3～5回は 利用したい	月6回以上 は利用した い	合計
回答数	106	162	50	318

⑨施設の利用料金について、あてはまるものを1つ選択してください。

回答	無料なら利用 したい	有料でも利用 したい	合計
回答数	117	201	318

「有料でも利用したい」が63%と、ある程度負担が生じて、利用したい世帯が半分以上を占めています。

⑩「有料でも利用したい」方、いくらぐらいであれば利用したいかあてはまるものを1つ選択してください

回答	100円～200 円程度	300円～400 円程度	500円程度	合計
回答数	74	82	45	201

「300円～400円程度」が40%、次いで「100円～200円程度」が37%という結果となっています。

⑪全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればいいと考えますか。また、五島市の魅力を活かした子どもの遊び場について、アイデアなどあれば教えてください。

【遊び】

思いきり身体を動かすことができる施設、多種多様な遊具を求める声がありました。また、子どもが元気に走り回ったり、大声を出しても大丈夫な施設を求める声もありました。具体的には、走り回れる広いスペース、アスレチック、ボルダリング、ボール遊び、トランポリン、すべり台、ネット遊具、坂を登る、プール、クライミング、などの意見がありました。

また身体を動かすだけではなく、頭を使って遊ぶ知育の要素（知育玩具、ボードゲームなど）を求める声もありました。

【屋外】

屋外で安全に水遊びや虫取りなどの自然体験や遊具で遊べる場所が併設した施設を求める声がありました。具体的には、安全に水遊びができる川、池、管理された森や草原での虫取り、散策エリア、砂遊び、小動物と触れ合いができるなどの意見がありました。

【体験・学習】

ものづくりや普段、家ではできない体験ができる施設を求める声がありました。

また、スポーツだけではなく、音楽や文化的なものも体験できることが理想という意見もありました。具体的には、水遊び、砂遊び、自由に創作、仕事体験、バラモン風など昔ながらの遊び、自然をいかした体験などを求める声がありました。

【イベント】

施設行事にあわせた工作などの体験型イベントの開催を求める声がありました。

また、家族だけでは体験しにくい自然とのふれあいの機会（星空観察等）、昔遊びに触れ合えるイベント、音楽、芸術、体操、ダンス、絵の教室などの意見がありました。

【設備】

多目的トイレ、幼児用トイレの充実などトイレについての意見が多くありました。

また、授乳スペース、おむつ交換スペース、着替えができる場所、バウンサー、ベビーチェアー、ベビーベットなど乳児を安心して連れていける環境を求める声がありました。その他、コインロッカー、コインランドリーの設置を求める声もありました。

【安全】

乳幼児、小学生など、年齢層に合わせた遊びができる施設、障がいを持った子も気兼ねなく安全に遊べる施設を求める声がありました。

また、混雑を避けるため、入場人数の制限（ネットでの予約）、有料でもいいので安全、清潔に、感染症対策の徹底（衛生面、清掃など）などの意見がありました。

【休憩】

カフェのように少しゆっくりと休めるスペースがあればいいという意見がありました。

【飲食】

食事ができるスペースを設けてほしいという意見がありました。

また、食事の持ち込みを可能にしてほしい。おにぎり・総菜などの販売、自動販売機の設置、食事の提供ができるカフェなどを求める声もありました。

【交流】

子育て世代が遊びに来ることで新たなネットワークを築いたり、子ども、保護者の人間関係が広がっていけるような場にしてほしいという意見がありました。

また、異年齢との遊びを通してルールや社会性を身に付けられる施設、昔の遊びに触れ合えるイベントなど多世代の交流にもつながる施設を求める意見がありました。

【その他】

親が快適でなければつれて行きたくない場所になるので、子ども視点と親視点、双方が快適に楽しめる場所が理想という意見がありました。子どもも大人も全世代が楽しめる場所、親子で一緒に遊べるが預けることもできる施設、一般の人もフリマ出店ができたり、ワークショップなどイベントが常設されているなど楽しめる施設、見守りやすい空間などの意見がありました。

※ 全ての意見は、9. 参考資料に掲載しております。

(2) 五島市保育会 主任保育士との意見交換まとめ

五島市保育会 主任保育士との意見交換まとめ

1. 日 時 令和7年2月25日（火）13:30~14:30

2. 参加者 五島市保育会 13名

3. 目的

全天候型の子どもの遊び場の具体的な内容、必要な機能など、日頃から保育現場で子どもと接する保育士の方々と自由に意見交換を行い、基本構想の具体的な内容整理に役立てるため。

4. 意見交換内容

テーマを「こういった施設がいい」「遊び場を設置する上で、配慮すべきこと」とし、遊び場について、コンセプト（方向性）として重要と思われるキーワードやどのような機能があった方がいいかなど、自由に意見を伺いました。

5. 主な意見

【遊び場について】

■ 遊ぶ場所にかかる意見

- ・年齢によって遊ぶ場所を分けてほしい。

（ベビーゾーン、ロールプレイゾーン、アクティブゾーンなど）

- ・低い仕切りのようなもので区切り、見通しが良い方がいい（親が遊ぶ子どもの様子が見える高さ）

■ 遊び方にかかる意見

- ・大胆な水遊び、土遊びをさせたい

- ・中庭に砂場、水遊び、三輪車など青空のもと、遊べるスペースを

- ・多目的ルームを（工作の日、音楽の日、サイエンスの日などイベントを楽しめる部屋）

- ・アトリエコーナーを（様々な素材、自然物を使って描く、壁一面に広々伸び伸びと）

- ・小学校高学年になるとおそらく身体を動かすレベルが違ってくると思うので、科学実験など体験スペースの充実も必要になるのでは

- ・職場体験ゾーンを

- ・感覚を育めるコーナーを

■ 遊具にかかる意見

- ・ボールプールは必要

（木製、感触を大事に。小さい子と大きい子と深さは分けた方がよい）

- ・ロッククライミング、ボルダリング

（全身運動ができる。体幹が弱い子が多いので遊びながら体幹を鍛えるように。

高くすると年齢別に遊べる）

- ・トランポリン（鬼岳をイメージ）

- ・すべり台（ゆるくていいので、長いものを滑らせてあげたい）

- ・縄あみハンモック（空間を上手に利用して、ドキドキ、ハラハラ、上下の動きも入れられたら）
- ・ピタゴラススイッチができるコーナー
- ・本格的なままごとコーナー
- ・チームラボ（さわったら光る、書いた絵が動くなど身体を使って遊ぶことが大切）

【施設について】

■ 施設全般にかかる意見

- ・屋内施設は、衛生管理が大変。感染症対策をしっかりとしてほしい。
- ・自然な光を取り入れた部屋にしてほしい

■ あったらいい機能についての意見

- ・トイレは多めに作ってほしい（左右、特に広いところだとトイレが間に合わない）
- ・鍵付きロッカーを無料で貸し出してほしい
- ・簡易シャワーを有料にして使わせてほしい
- ・駐車場はたくさんある方がいい
- ・授乳、調乳、調理、食事コーナー、おむつ交換コーナーなど
- ・室内、室外、両方で遊べるようにした方がよい

■ 休憩機能について

- ・施設内に美容院、マッサージなど保護者が癒されるコーナーがあるといいなあ
- ・祖父母が座って子どもの姿をゆっくり見れるような場所がよい
- ・飲食ができるスペース
- ・遊び場付近は、せめて飲み物だけは飲めるようにして欲しい
- ・キッチンカーの巡回
- ・食事、出張販売みたいなものがあれば

【相談機能について】

■ 求めるもの

- ・スタッフが在中してほしい
- ・かたくなりすぎないように、ベビーコーナーよりにあるといいのでは
- ・予約制だといいのかな

【その他】

■ 意見、アイデア、気になること

- ・園の遠足の場として活用できる
- ・ずっと同じものではなく、イベントで変化を持たせることもリピーターにつながるのでは
- ・有料の方が施設を丁寧に使ってくれそう、施設側が安全管理をしてくれそう
- ・すべてを有料にせず、子どもの遊び場は有料だけど、イートインスペースや相談のところは一部無料にすると入りやすいのでは

- ・土足厳禁？はだし？ルームシューズ？
- ・季節によってはイベントも
- ・日曜など各コーナーでイベント

- ・監視員は必要
- ・基本保護者同伴（子どもだけで行けるようにすると何かあった場合の対応が大変）
- ・人数制限はするのか？
- ・使用するときは予約制か？（特に最初は混雑すると思うので予約制がよい）
- ・若い保護者は、スマホで予約の方がいいのでは？

(3) 子育て相談室「歩む」へのヒアリングまとめ

子育て相談室「歩む」へのヒアリングまとめ

1. 日 時 令和7年6月20日（金）16:00～17:00

2. 対象者 子育て相談室「歩む」職員

3. 目的

全天候型の子どもの遊び場では、子育てにかかる相談ができる場を設ける予定であり、気軽に相談できる体制や利用しやすい環境づくりについて、関係機関に意見を伺い、施設整備に役立てることとする。

4. 意見交換内容

全天候型の子どもの遊び場は、子どもの遊び場での利用以外に、子育て支援の拠点としての役割（相談機能、多世代交流機能など）を持たせる予定である。相談機能を持たせる場合、気軽に相談できる場づくり、配慮すべきことなど、自由に意見を伺った。

5. 主な意見

■ 相談機能にかかる意見

- ・相談場所は1F、乳児エリアの近くがよい
- ・北九州の「元気のもり」のように子どもの一時預かり機能を持たせると、利用者に喜ばれると思う。
- ・相談機能と合わせて、ファミリーサポートセンターも機能として入れると、支援の周知や利用しやすい環境が整うのではないか。また、提供、依頼会員の登録者の増につながるのではないか。

■ その他

- ・子育て世帯の中には、子どもの発育の違いや身体的な制約がある場合、他の子ども、保護者に遠慮して、自由に遊ばせることができないケースがある。
このようなことがないように、遊び場を広くし、いろいろな遊びができる場にすることで、障がいの有無にかかわらず、いろんな子どもが自由に遊べる、インクルーシブな遊び場にしてほしい。

4. 基本理念（コンセプト）

4 基本理念（コンセプト）（案）

子育て世帯や関係機関を対象に行ったアンケートやヒアリングの結果等を踏まえ、全天候型子どもの遊び場の基本理念（コンセプト）（案）を以下のとおり設定します。

“みんなとつながる、遊びと学び”
“笑顔と成長で未来をつくる”

1 夢中で遊べる空間

乳幼児や小学生など全ての子どもが“わくわく”しながら、夢中になって、跳んだり、走ったり、自由に身体を動かすことができる空間にします。

2 安全・安心な空間

乳幼児が安全に、安心して遊べるように、親子が快適に広い空間で遊べるように、年齢別の遊び場や、障害のある人も障害のない人も楽しめる、みんなが一緒に遊べる空間（インクルーシブな空間）を確保します。

3 遊びから力を育む空間

様々な「遊び」を通じて「学び」、子どもたちの主体性や好奇心、創意工夫など、いろんな力を育むことができる空間にします。また、年齢が異なるお兄ちゃん、お姉ちゃんたちといっしょに遊ぶことで、遊びのルールや思いやりの心を養うことができる空間にします。

4 ゆっくりとくつろぎ、交流ができる空間

親同士やおじいちゃん、おばあちゃんなど、多くの世代が交流し、親子や孫と一緒に楽しい時間を過ごしながら、ゆっくりとくつろげる空間、新たな人間関係やネットワークが広がる空間を確保します。また、帰省や観光で訪れた方も楽しめる、新たなにぎわいのある空間にします。

5. 与件整理

5 与件整理

(1) 施設機能の検討

子育て世帯のアンケート結果や基本理念（案）に基づき、施設に必要な機能は、以下のとおり設定します。

【施設の機能】

①遊び場機能

対象年齢を乳幼児からとして、思いきり身体を動かすことができる遊具を配置し、走り回ったりできるスペースや天井高を活用したネット遊具の配置などを想定しています。また、身体を動かすだけでなく、頭を使って遊ぶ知育の要素を取り入れた遊具の設置も検討します。

②相談・支援機能

子育ての悩みや相談に対応できる相談機能と合わせて、子育てにかかる各種施設利用や様々な子育てサービスへの利用につながるよう、ファミリーサポートセンター機能の統合を検討します。

③休憩・交流・居場所機能

アンケート結果で多かった食事ができる場所や、親同士、多世代の交流ができる場所、ゆっくりと休憩・リラックスできる場所の確保を検討します。また、小学生、中学生や高校生が自分の好きなことや学習、友人などと放課後の時間を過ごせる場所、若者同士の情報交換や交流する場所など、子どもや若者たちも安心して過ごせる居場所の確保を検討します。

④多目的機能

普段家庭ではできない体験イベント（昔遊びに触れるイベントや親子参加型のイベントなど）や、子育て支援団体の活動（子育て支援教室、子ども服のフリマなど）の場となる場所の確保を検討します。

⑤管理機能・共用部分

入場者の管理やインフォメーション、遊び場での見守り、施設の清掃をはじめとする維持管理をスタッフが効率よく働ける環境になるよう検討します。

親子が安全、清潔に利用できる多目的トイレの設置、授乳スペースやおむつ交換スペースなど、乳幼児も安心して連れていける環境を検討します。

下駄箱やロッカーの設置、滑りにくい床材の採用や誰でも利用しやすいユニバーサルデザインに配慮するとともに、子ども目線で利用しやすい動線を検討します。

(2) 施設の規模・面積の検討

施設の機能を考慮し、その効果を十分発揮できるように、以下のとおり、規模（面積）を想定します。

①遊び場機能

屋内遊戯スペース

約 600 m²

最大同時利用者 100 名想定

②相談・支援機能

子育て悩み相談、ファミリーサポートセンター

約 100 m²

③休憩・交流・居場所機能

休憩・飲食、居場所・フリースペース

約 100 m²

④多目的機能

多目的ルーム

約 100 m²

⑤管理機能・共用部分

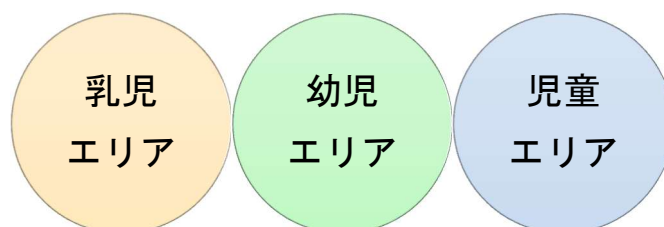
事務室、エントランススペース、トイレ、（男、女、多目的）、
手洗い・授乳室、おむつ交換室、倉庫

約 200 m²

(3) 年齢別の遊び場の検討

発達段階に応じて、「乳児エリア」「幼児エリア」「児童エリア」の3つのエリアを設定し、「あそび」の仕掛けを検討します。

「からだ全体を使うあそび」に重点を置き、子ども自身の発達と好みに合わせて最適なチャレンジができる構造とします。



【遊びの仕掛けのポイント】

1 子どもの感性を楽しく刺激する

楽しみながら五感を使うことで、子どもの感性を育て、遊びの幅を広げます。さまざまな感覚を使う遊びは、子どもたちに新しい経験や学びをもたらし、創造力や問題解決能力を育むことにもつながります。

2 みんなと同じ遊びができる

全ての子どもが一緒に楽しめる遊びの楽しさを味わえる空間にします。子ども達みんなが同じ遊びを通じて、協力し合ったり、お互いを理解し合い、尊重したりする大切さを学ぶことができます。

3 自分に合った遊びを選べる

自分に合った遊びや興味を追求することで、自己肯定感や自己表現力が育まれます。遊びの選択肢が豊富にある中で、それぞれの身体能力とところの個性に合わせて、自ら遊びを選び楽しむようにします。

4 みんなとつながる

異なる個性や興味を持つ子どもたちが協力し合い、お互いの違いを尊重しながら一緒に楽しむことは、豊かな人間関係やコミュニケーション力を育むことにつながります。子どもたちが一緒に遊び、楽しさを膨らませ、分かち合えるような関係性をつくります。

○ 年齢別エリアのイメージ

①乳児エリア（0歳～2歳児）

ねらい

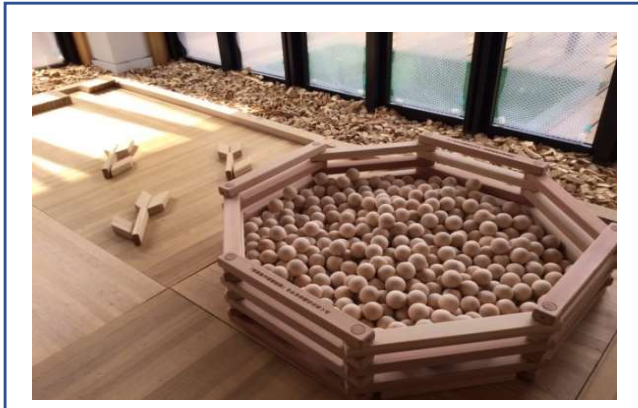
手足を活発に動かし、音や物に触れたときの感触を確かめながら、さまざまな手足の動きを楽しむことができるため、感覚の発達が促進されます。

また、歩くことや走ることができるようになると、行動範囲が広がり、身体を使って探検し、活発に動き回ることによって、運動能力の発達が期待されます。親子でスキンシップを図りながら遊ぶことで、愛着関係が形成されていきます。

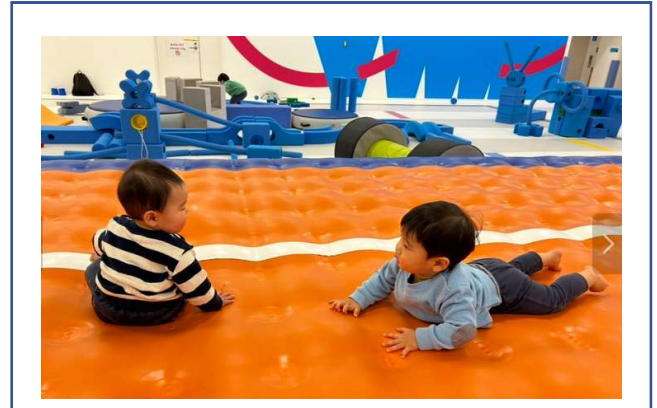
【遊具例－効果】

- ・木のボールプール－脳や神経の発達を促す刺激を与える。
- ・クッション遊具－手や指で対象物に触る触覚を活用した認知や思考につながる遊び。
さまざまな質感や固さ、形状の物に触れて楽しむ。
- ・ごっこ遊び－子どもなりに場面をイメージしながら遊び、想像力（創造力）や発想力を育む。
- ・ままごと遊び－想像力や観察力が養われ、コミュニケーションや社会性が身に付く。
- ・ハイハイ遊び－積極的に身体を動かし、脳の発達を促すとともに体幹と足腰を強くする。

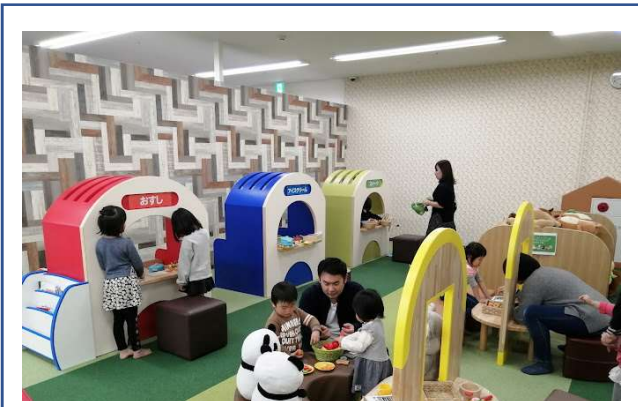
【イメージ①】 木のボールプール



【イメージ②】 ハイハイ遊び



【イメージ③】 ごっこ遊び



【イメージ④】 クッション遊具



②幼児エリア（３歳～５歳児）

ねらい

飛んだり、跳ねたり、身体全体を使って自由に遊ぶことが増えてくる時期です。遊ぶことの楽しさや自分の考えを表現することで、創造力や表現力が育まれます。

また、友だちと協力して遊ぶことや集団遊びを通して、子ども同士でのルールの確認や相手を思いやる気持ちなど、社会性や協調性が育まれることが期待できます。

【遊具例－効果】

- ・ バランス、平均台－平衡感覚を養う。
- ・ マグネットレール、落書きスペース－自由な発想や創造力を育む。
- ・ 複合遊具（山型）－登る、つかまる、滑るなど、身体全体を使う。
- ・ 人工砂場－バランス感覚、器用さ、空間認識力、想像力、協調性を育む。
- ・ クッションプール－手や指で対象物に触る触覚を活用した認知や思考につながる遊び。さまざまな質感や固さ、形状の物に触れて楽しむ。

【イメージ①】 バランス、平均台



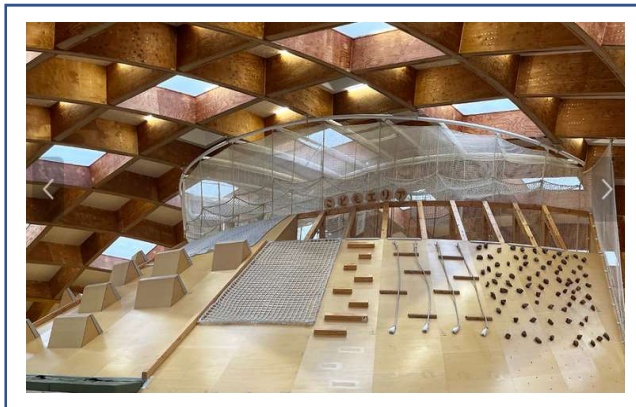
【イメージ②】 マグネットレール、落書き



【イメージ③】 人工砂場



【イメージ④】 複合遊具



③児童エリア（小学校～）

ねらい

遊具を使って身体全体を動かすことで体力、身体能力を高めることができます。遊びの中でさまざまな問題に直面し、それを解決するための能力が養われます。

また、遊びを通して、自発性、好奇心、想像力などを膨らませることができ、同年代の子どもや周囲の大人とも接する機会が増え、コミュニケーション能力や社会性も向上します。

【遊具例－効果】

- ・クライミングー全身を使い、体幹を鍛えたり、バランス感覚を養う。
- ・ネットトランポリンー全身を使い、体幹を鍛えたり、運動神経を高める。
- ・ボールプーラー指先の動きが活発になり、脳の発達、思考力や記憶力の向上につながる。
- ・アスレチックー全身を使い、身体と物の距離感やバランス感覚・体幹など、運動能力を高める。

【イメージ①】 クライミング



【イメージ②】 ネット遊具



【イメージ③】 ネットトランポリン



【イメージ④】 アスレチック



6. 候補地分析・選定

6. 候補地分析・選定

(1) 整備手法の検討

基本理念（コンセプト）（案）に基づき、検討している施設機能（規模、面積）を有する施設を整備する場合、以下の整備手法の選択肢が考えられます。

五島市で整備が可能であるのか、個別に検討します。

【整備手法の選択肢】



① 廃校活用



② 民間活用



③ 公共施設活用



④ 新設

(2) 既存施設の活用検討

○ 既存施設（①～③）の活用検討

現在、活用できる廃校等は、以下のとおり。評価方法は、評価指標を設定し、検討します。

【検討する施設】

① 廃校 … 旧大浜小、旧平成小、旧玉之浦小

※ R7.4.1 現在、廃校は21施設。うち利用可能な廃校は3校（旧大浜小、旧平成小、旧玉之浦小）。利用不可理由：老朽化による活用困難、地域団体等が活用中、企業誘致等活用予定

② 民間施設 … 該当なし

※ 該当なしの理由：遊び場に改修できる規模の施設がないため

③ 公共施設 … 保健センター

4階（児童館、ホール）を子どもの遊び場として検討するもの。

【評価方法】

次の指標をもとに比較検討を行う。

【評価指標】

- ① 拠点化
 - ・遊び場、相談、休憩・交流の機能が集約できるか。
 - ・周辺施設との相乗効果により、施設の利用価値が高まるか。
- ② 規模
 - ・施設規模の条件を満たすことができるか。
- ③ 使いやすさ
 - ・利用しやすい施設か（子どもを遊ばせやすい、見守りやすい施設など）
 - ・利用できる駐車場があるか。
- ④ 管理
 - ・管理者側として、管理しやすい施設であるか。
- ⑤ 改修
 - ・どの程度の改修を要するか。
- ⑥ 安全性
 - ・災害からの安全性、災害時の位置づけなど問題はないか。
- ⑦ 立地
 - ・利用しやすい場所であるか（車で行きやすい場所であるか。）。
- ⑧ 市民ニーズ
 - ・思いきり身体を動かすことができる施設となる可能性があるか。
 - ・屋外での自然体験、学習などができる可能性があるか。
 - ・年齢に合わせた遊びができる施設となる可能性があるか。
 - ・乳幼児をもつ家庭が利用しやすいような施設となる可能性があるか。
- ⑨ 地域団体等
 - ・地域の子育て支援団体の活動の促進につながるか。
 - ・多世代の交流につながるか。
- ⑩ 地域活性化
 - ・施設が存在が地域の活性化等につながる可能性があるか。

○ 既存施設（①～③）の活用検討結果

① 廃校活用

- ・概ね条件を満たす廃校は、旧大浜小、旧玉之浦小であるが、立地の面から旧大浜小が最適である。
※個別評価については、次頁からを参照ください。
- ・改修費については、体育館への遊具設置、冷暖房設備の設置、電源設備の増設、校舎の改修などが想定されます。参考となる整備費は、以下のとおりです。
 - 新上五島町「こども未来交流センター「きらり」」
 - ・改修した廃校：旧町立今里小（校舎、体育館）
 - ・改修費：522,000 千円
 - ・主な機能：年齢別の遊び場、子育て支援室、創作エリア、授乳室、休憩室など
 - 福小体育館への空調設置費概算見積
 - ・空調設置費 276,980 千円 + 電源不足による電源増設工事費
- ・活用する上でのメリット、デメリットは以下のとおりです。

メリット	○既存校舎、体育館の有効活用 ○運動場を駐車場に活用することが可能
デメリット	○空調設備の設置など改修費が高額になるおそれがある。 ○校舎、体育館の経年劣化による将来的な大規模改修の懸念がある（雨漏り等）。

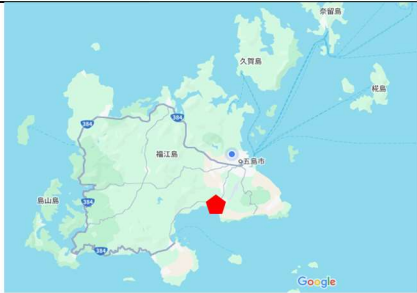
② 民間施設活用

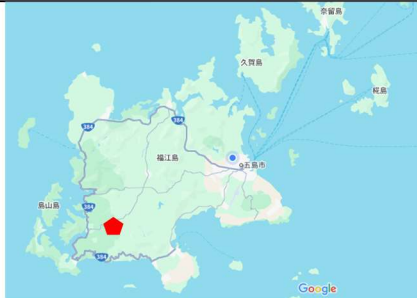
- ・該当なし（遊び場に改修できる規模の施設がないため。）

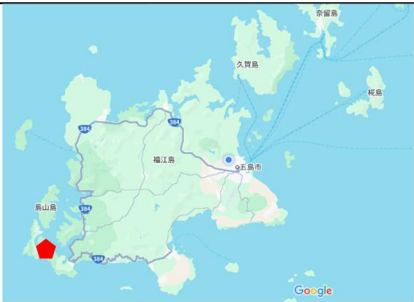
③ 公共施設活用（保健センター改修）

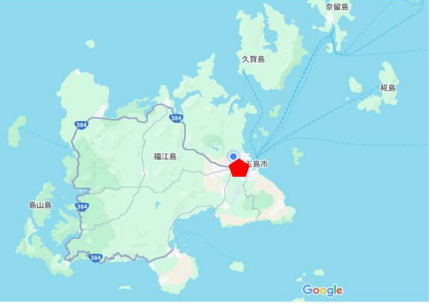
- ・保健センターの子育て支援の拠点としての機能が高まる。
- ・図書館と距離が近く、互いに利用促進への相乗効果が高まる可能性がある。
- ・整備場所が、4 階のホールとなり、もともと遊具を設置する遊び場の想定ではなく、設置する遊具が制限される。
- ・規模（面積）が若干狭い上、遊び場が 2 か所に分かれているため、対象児童を制限する必要がある
- ・現駐車場の台数に限りがあり、新たな駐車場を整備する必要がある。
- ・活用する上でのメリット、デメリットは以下のとおりです。

メリット	○保健センターの子育て支援の拠点化が進む（市こども未来課（こども家庭センター）、子育て相談（歩む）、子育て支援（ファミリーサポートセンター） ○廃校改修、新設よりも改修費、維持管理費を抑えることが可能
デメリット	○子育て世帯が求める遊びを提供できない可能性がある。小学生高学年までを対象にした遊び場を提供できない可能性がある。 ○4 階ホールの代替場所の確保が必要 ○新たな駐車場の確保が必要

		旧大浜小	
整備候補地			
基礎データ	所在地	五島市小泊町328番地	
	1. 延べ床面積 (㎡)	体育館600㎡ ※うち活用可能面積480㎡	
	2. 築年/経過年数	S54. 5月/46年	
	3. 構造/耐用年数	SRC/47年	
	4. 現在の利用状況	週3, 4回、スポーツクラブ（バスケ、バレーなど）が利用	
評価項目	①拠点化	○校舎と体育館が隣接しており、機能の集約は可能（体育館：遊び場、校舎：1F教室に相談・交流スペース）	
	②規模	○施設規模の条件は満たしているが、体育館の活用面積が480㎡と少し手狭である。	
	③使いやすさ	○体育館と校舎、駐車場となる運動場は隣接し、利用に不便はない ○体育館（遊び場）と校舎（交流・相談）で保護者が快適に過ごせる環境となりうるかがポイントか	
	④管理しやすさ	○体育館と校舎を管理する必要がある、人員増につながる恐れあり	
	⑤費用	○体育館：遊び場への改修、エアコンの設置、電源設備の増設 ○校舎：相談、交流スペースへの改修、エアコンの設置。幼児用トイレへの改修、授乳室等の整備 ○懸念事項：校舎は耐用年数を大幅に経過しており、今後大規模改修の可能性がある。	
	⑥安全性	○体育館の一部が土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域（がけ崩れ）に指定されている。運動場の一部が土砂災害警戒区域（がけ崩れ）に指定されている。	
	⑦立地	○福江地区からのアクセスは車で20分圏内 ○富江以外の支所地区からのアクセスは30分以上を要する	
	⑧市民ニーズ	○思い切り身体を動かす遊びや要望が高い遊具の設置は可能 ○屋外運動場を活用し、外遊びとの連携も可能 ○猛暑、寒波時に遊べる環境として、冷暖房の完備が必要 ○体育館を定期的に利用しているこどものスポーツクラブの活動場所の調整が必要か	
	⑨地域団体等	○校舎の空き教室を活用し、地域団体等の活動促進の可能性あり	
	⑩地域活性化	○既にフリマ、バザーなど市民団体が主催したイベントが行われており、集客も多い。連携が可能であれば相乗効果も見込める。	

		旧平成小
整備候補地		 
基礎データ	所在地	玉之浦町中須951番地1
	1. 延べ床面積 (㎡)	体育館652㎡ ※うち活用可能面積486.8㎡
	2. 築年/経過年数	H5. 3月/32年
	3. 構造/耐用年数	RC/47年
	4. 現在の利用状況	特になし
評価項目	①拠点化	○体育館のみ利用可能（校舎は複数の団体が活用中） ○機能集約は困難
	②規模	○体育館だけの活用となり、条件を満たすことができない
	③使いやすさ	○駐車場となるグラウンドが体育館と距離があり、多少不便が生じる。 ○乳幼児を持つ子育て家庭が求める機能（授乳室、おむつ替え）などの整備が難しいか
	④管理しやすさ	○体育館のみであれば、管理はしやすい
	⑤費用	○体育館：遊び場への改修、エアコンの設置、電源設備の増設
	⑥安全性	○体育館、校舎、運動場のすべてが土砂災害警戒区域（土石流）、運動場の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されている。
	⑦立地	○福江地区からのアクセスは車で30分以上を要する。
	⑧市民ニーズ	○思い切り身体を動かす遊びや要望が高い遊具を設置し、遊ぶ環境を整えることは可能 ○交流、休憩機能は、校舎の利用で対応が可能か ○乳幼児を持つ家庭が利用しやすい機能（授乳室等）の設置はスペース的に困難か
	⑨地域団体等	○校舎は、複数の団体が活用中、軽食スペース、雑貨販売などを行っており、新たな子育て支援の活動につながる可能性もあり
	⑩地域活性化	○福江地区から距離があり、周辺地域との連携も難しく、地域活性化への影響は限定的

		旧玉之浦小	
整備候補地			
基礎データ	所在地	玉之浦町玉之浦797番地4	
	1. 延べ床面積 (㎡)	体育館905㎡	
	2. 築年/経過年数	H9. 11月/28年	
	3. 構造/耐用年数	RC/47年	
	4. 現在の利用状況	特になし	
評価項目	①拠点化	○校舎と体育館が隣接しており、機能の集約は可能 ○体育館の規模（905㎡）が大きく、体育館での遊び場、交流、相談機能の集約も可能性あり	
	②規模	○施設規模の条件は満たしている。	
	③使いやすさ	○体育館と校舎、駐車場となる運動場は隣接し、利用に不便はない ○体育館内は2つのスペースがあり、年齢別のエリア設定が容易 ○運動場が広く、一部遊具も残っており、外遊びとの連携が可能。	
	④管理しやすさ	○体育館と校舎を管理する必要がある、人員増につながる恐れあり	
	⑤費用	○体育館：遊び場への改修、エアコンの設置、電源設備の増設 ○校舎：相談、交流スペースへの改修、エアコンの設置。幼児用トイレへの改修、授乳室等の整備 ○懸念事項：校舎は耐用年数を大幅に経過しており、今後大規模改修の可能性がある。	
	⑥安全性	○体育館の一部が、1m～2m未満の津波浸水区域に指定されている。	
	⑦立地	○福江地区からのアクセスは車で45分以上を要する。	
	⑧市民ニーズ	○思い切り身体を動かす遊びや要望が高い遊具を設置し、遊ぶ環境を整えることは可能 ○アクセスに時間がかかり、利用の増につながるかは未知数	
	⑨地域団体等	○アクセスの時間がかかるため、活動の促進につながるかは未知数	
	⑩地域活性化	○福江地区から距離があり、周辺地域との連携も難しく、地域活性化への影響は限定的	

		保健センター4F	
整備候補地		 	
基礎データ	所在地	五島市三尾野1丁目7番1号	
	1. 延べ床面積 (㎡)	4Fフロアー855㎡ ※うち活用可能面積558㎡	
	2. 築年/経過年数	H11. 3月/26年	
	3. 構造/耐用年数	RC/47年	
	4. 現在の利用状況	児童館、多目的ホール	
評価項目	①拠点化	○既に行政機能（こども未来課）、子育て相談機能があり、4Fを子どもの遊び場とすることで子育て拠点施設として機能が高まる。 ○市役所本庁、図書館との近く、施設利用の相乗効果が期待できる。	
	②規模	○施設規模の条件は満たしている。 ○遊び場へ活用可能な面積が558㎡（児童館スペース245㎡、ホール313㎡）であるが、構造上2か所に分かれている。広さ的に十分でないため、対象は小学生低学年までが妥当か	
	③使いやすさ	○遊び場が2か所に分かれており、年齢が違う兄弟児の場合、保護者が目が行き届かない恐れがある。 ○駐車場が不足するため、新たに整備する必要がある。多少不便が生じる。	
	④管理しやすさ	○遊び場が2箇所に分かれているため、スタッフの配置が増える恐れあり	
	⑤費用	○児童館：乳幼児向け遊び場へのリニューアル ○ホール：小学低学年向け改修、3Fフロアへの防音対策 ○駐車場：新たな駐車増の確保 ○その他：施設全体の大規模改修が予定（屋上防水、外壁補修等）、工事の同時発注などうまくいけば経費削減につながる可能性あり	
	⑥安全性	○遊び場が4Fである。	
	⑦立地	○福江地区の中心部にあり、連動性が高い図書館の近くに立地している。 ○施設の駐車場スペースが不足している	
	⑧市民ニーズ	○遊び場のスペースがやや手狭であること、4Fホールに設置する遊具の制約があり、保護者が求める遊び方ができるかについて不安あり（思い切り身体を動かすことや、アスレチック系の遊具の設置など） ○これまで4Fホールの利用者の代替え施設が必要。	
	⑨地域団体等	○日頃から福祉団体など利用が多く、調理室も完備しているため、いろんな子ども向けイベントの開催が可能	
	⑩地域活性化	○図書館、中心商店街にも近いことから新たな人の流れの創出につながる可能性あり	

(3) 新設の検討

検討する場所は、以下のとおり、評価方法、評価指標により検討します。

【検討する施設】

- ④ 新設（閉鎖型施設） … 市職員第1駐車場（図書館隣）、中央公園自由広場

《選定理由》

市有地であること。施設規模の建設が可能な面積を有する場所であること。車でのアクセスが容易であり、近隣に整備された駐車場がある場所であること。周辺の公共施設との利用促進が図られる場所であること。

【評価方法】

次の指標をもとに比較検討を行う。

【評価指標】

- ① 拠点化 ・ 周辺施設との相乗効果により、施設の利用価値が高まるか。
- ② 敷地規模 ・ 施設規模の建設が可能か。
・ 敷地造成の必要がないか。
- ③ 使いやすさ ・ 利用できる駐車場があるか。
・ 周辺施設との連携が可能か。
・ 屋外遊び場との連動性があるか。
- ④ 費用 ・ どの程度の整備費を要するか。
- ⑤ 安全性 ・ 災害からの安全性、災害時の位置づけなど問題はないか。
- ⑥ 立地 ・ 利用しやすい場所であるか（車で行きやすい場所であるか。）。
- ⑦ 地域団体等
・ 地域の子育て支援団体の活動の促進につながるか。
・ 多世代の交流につながるか。
- ⑧ 地域活性化
・ 施設の存在が地域の活性化等につながる可能性があるか。

○ 新設の活用検討結果

④新設

- ・市職員第1駐車場（図書館隣）、中央公園自由広場ともに福江地区の車でアクセスがしやすい場所にあり、立地的に申し分ないが、図書館、保健センターとの連携を考えると市職員第1駐車場の方が適している。
- ・子育て世代が求める規模、機能、安全性を反映した施設整備が可能であるが、設計、工事など費用も時間もかかる。

□ 整備費用（概算）

○ 実施設計 2.4 千万円

○ 工事費 約7億円を想定（外構及び地盤改良費は含まない。）

□ 財源

① 財源イメージ

事業費	財源	
	国 交付金※1	過疎対策事業債※2
	50%	50%



① 市の実質負担イメージ

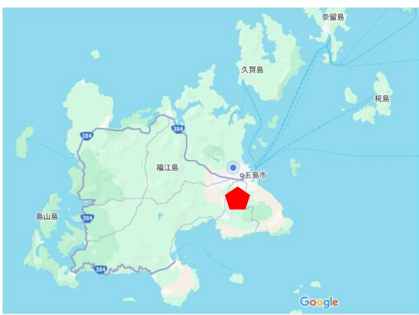
事業費	実質負担		
	国 交付金	国 交付税	市
	50%	35%	15%

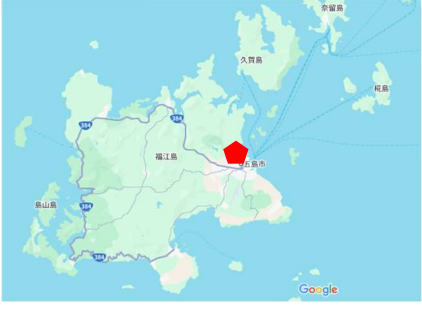
※1 国交付金は、新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）であり、事業費に対して、補助率 1/2 が交付金として交付される。

※2 過疎対策事業債は、市が活用できる地方債であり、後年度、元金利息を償還していく際に、国から 70%を交付税として措置されるもの。市の実質的な負担が軽減される。

- ・活用する上でのメリット、デメリットは以下のとおり

メリット	○子育て世代が求めるものをしっかりと反映できる。 ○周辺に子育て支援の核となる施設（保健センター、図書館、中央公園）があり、一体的な子育て支援エリアとして、利用促進、多世代交流の機会の増など相乗効果が得られる可能性がある。
デメリット	○建設費、維持管理費が高騰しており、後年度の負担が重くなる。

		中央公園自由広場	
整備候補地		 	
基礎データ	所在地	五島市三尾野町 239 番地	
	1. 敷地面積 (㎡)	2,679 ㎡	
	2. 用地取得の確実性	市有地	
	3. 敷地造成の有無	なし	
	4. 現在の利用形態	市民の多目的な運動広場として利用	
評価項目	①拠点化、周辺施設との連携	○中央公園での子どもの遊びの選択肢が増え、遊びの拠点化となりうる。	
	②敷地規模	○敷地規模は十分満たしている。 ○敷地造成の必要はない。	
	③使いやすさ	○駐車場との距離が多少あり、雨天時など多少不便が生じる可能性あり、またイベントが重なる日は、駐車場が不足するおそれあり ○中央公園の各種施設や屋外遊び場との連動性が高まり、利用促進につながる可能性あり ○現在整備中のクロスカントリーコースに隣接しており、衝突などの安全性の心配がある。	
	④費用	○施設規模：建築面積 800 ㎡、延べ床面積 1,000 ㎡ ○構造：RC 造一部 S 造 ○整備費用：約 7 億円を想定（外構及び地盤改良費は含まない。） ○財源：国（第 2 世代交付金）、ふるさと納税、クラウドファンディング	
	⑤安全性	特に問題なし	
	⑥立地	○福江地区の中心部にあり、各地区からの車でのアクセスに不便はない。	
	⑦地域団体等	○現在、中央公園では、子どもから大人を対象にしたスポーツ行事が多く開催されており、イベントの連携や多世代交流につながる可能性がある。	
	⑧地域活性化	○図書館、中心商店街にも近いことから新たな人の流れの創出につながる可能性あり	

		市職員第 1 駐車場（図書館隣）	
整備候補地		 	
基礎データ	所在地	五島市木場町 438 番地 1	
	1. 敷地面積（㎡）	1,553 ㎡	
	2. 用地取得の確実性	市有地	
	3. 敷地造成の有無	舗装面解体要	
	4. 現在の利用形態	市役所職員の駐車場として利用	
評価項目	①拠点化、周辺施設との連携	○図書館に隣接し、保健センターに徒歩 5 分圏内と子育て支援施設が集約されたエリア（遊び、学び、子育て支援）となり、五島市の子育て環境 UP につながる可能性あり	
	②敷地規模	○敷地規模は十分満たしている。 ○敷地造成の必要はない。	
	③使いやすさ	○敷地が市道に面しており、車でのアクセスがしやすい。 ○駐車場は、敷地の一部と図書館駐車場を共有して利用することが可能 ○図書館に隣接しており、行き来が自由にでき、幼少期から本に触れる機会が増える可能性がある。	
	④費用	○施設規模：建築面積 800 ㎡、延べ床面積 1,000 ㎡ ○構造：RC 造一部 S 造 ○整備費用：約 7 億円を想定（外構及び地盤改良費は含まない。） ○財源：国（第 2 世代交付金）、ふるさと納税、クラウドファンディング	
	⑤安全性	特に問題なし	
	⑥立地	○福江地区の中心部にあり、各地区からの車でのアクセスに不便はない。	
	⑦地域団体等	○多くの世代やいろんな子育て支援団体が図書館を利用して活動しており、イベントの連携や多世代交流につながる可能性がある。	
	⑧地域活性化	○図書館、中心商店街にも近いことから新たな人の流れの創出につながる可能性あり	

7. 最終候補地の選定

7. 最終候補地の選定

◎最終候補地（案）：市職員第1駐車場（図書館隣）に新設

(1) 理由

整備手法の選択肢を個別に検討した結果、廃校活用、公共施設活用については、市民ニーズにあった規模、機能の集約、管理のしやすさ、利用者の安全性の確保、使用に際しての改修、設備の増設（冷暖房設備、電源設備等）など課題が多いことが判明しました。

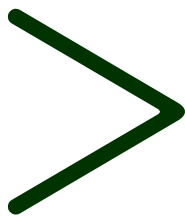
一方、新たな施設の整備については、廃校、公共施設の改修に比べ、整備費用は、割高になりますが、市民ニーズにあった規模、機能、使いやすさ、市が目指す基本理念にあった施設を整備することができ、将来、五島市の子育て環境の魅力向上につながるものであります。

また、最終候補地については、図書館の隣接地を活用することにより、学びの拠点である図書館や子育て支援の拠点である保健センターとの連携が図られ、子育て支援に特化したエリアとして、各施設の利便性が高まり、利用の促進につながるものと考えます。さらには、周辺地域の活性化や、子育て関連団体などの活動の促進などにも寄与するものと考えます。

□新設と廃校・公共施設活用の比較検討

【新設】

- 子育て世代が求める規模、機能、安全性を反映した施設整備が可能
 - ➡設計、工事などに費用や時間がかかるが、国からの補助を活用することができ、市の実質的な整備に要する費用の負担が軽減される。新築により安全性や耐久性などが確保され、安心して使用できる。
- 新設することで、施設の設備や機能を最新化することができ、最新の安全基準や設計を取り入れることが可能
- 周辺施設との相乗効果や地域の活性化等につながる可能性を反映させた建築計画・設計・建設が可能
- 年間を通して外部の季節変動にかかわらず利用可能



【廃校・公共施設活用】

- 子育て世代が求める規模、機能
 - ➡活用できる廃校に限られ、校舎、体育館の規模にあったものとなり、遊び場、機能に制約が生じる。
- 安全・快適な施設にするための改修
 - ➡冷暖房設備の設置、電源設備の増設、校舎及び体育館の改修等
- 将来的な大規模改修の懸念
 - ➡校舎、体育館の経年劣化による外壁、屋上などの剥離、雨漏り等
- 概ね条件を満たす廃校は、各地区からの交通アクセスに30分以上の時間を要する。
- 公共施設（保健センター）の整備場所においては、代替施設の確保が必要となる。

【市職員第1駐車場】

●子育て支援に特化したエリア

➡保健センター（こども未来課・こども家庭センター）、図書館との相互連携が図られ、子育て環境の向上や支援活動を行う団体、人材等のネットワークが更に強化されます。併せて子育て世帯の情報交換や支援の機会が増えることが期待できます。

●周辺地域の活性化

➡中心市街地、行政機関、図書館の周辺に子どもの遊び場が整備されることで、親子連れや地域住民、帰省や観光で訪れる人々が集まる場所が増えます。交流が促進され、周辺地域の活性化や多くの人々が訪れる新たな五島市の人気スポットとなることが期待できます。

●教育の場の拡充

➡保健センターや図書館に隣接した子どもの遊び場は、教育の場を拡充する役割も果たします。子どもたちは遊びながら学ぶことができ、知的な成長や社会性の向上に寄与することが期待できます。

●施設の利用促進

➡保健センターや図書館に隣接した子どもの遊び場があることで、これらの施設の利用促進が期待されます。保護者が子どもを遊ばせながら施設を利用することができるため、より多くの人々が施設を訪れることが見込まれます。

【中央公園自由広場】

●各地区から車でのアクセスがしやすい場所であり、立地的には良い。

➡駐車場との距離が多少あり、雨天時などは施設の移動に多少不便が生じる可能性があります。

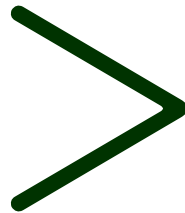
●中央公園での子どもの遊びの選択肢が増え、遊びの拠点化となり得る。

➡現在、整備中のクロスカントリコースに隣接しており、走者との衝突などの危険性が懸念されます。

●中央公園の各種施設や屋外遊び場との連動性が高まり、施設の利用促進が期待できます。

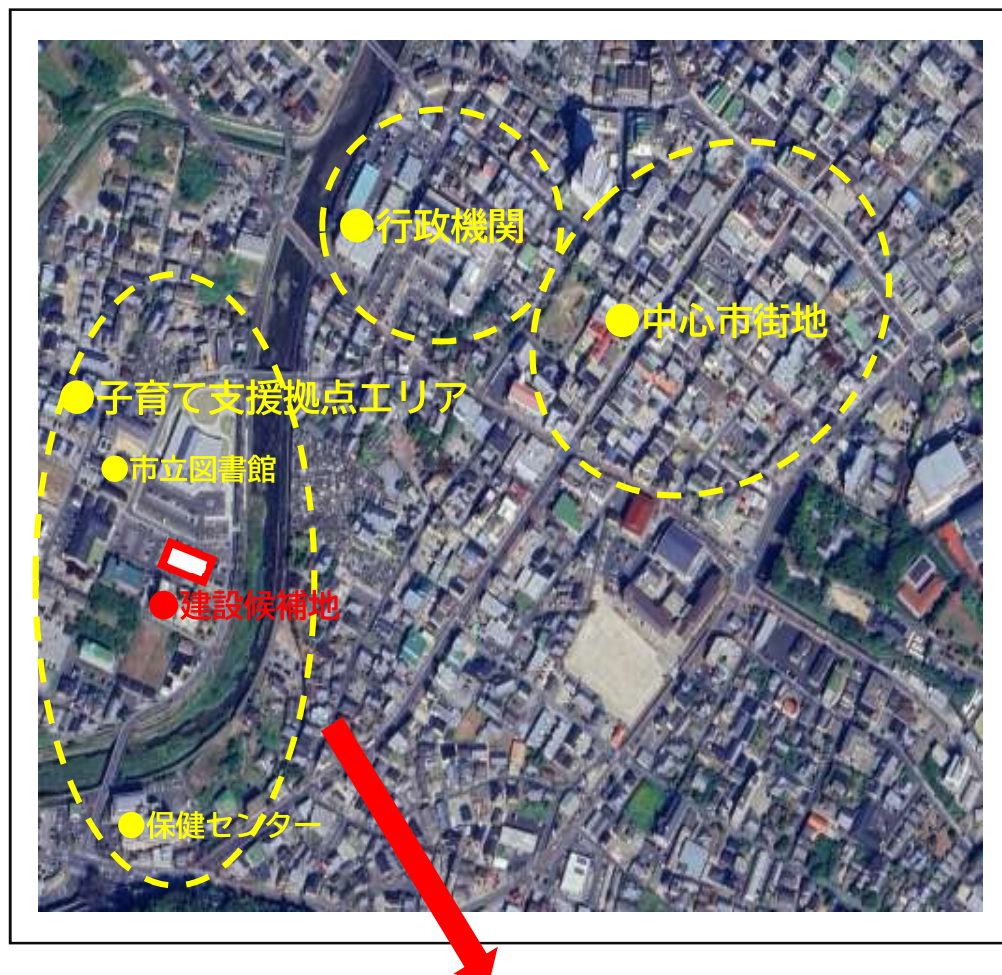
●他の施設との連携や子育て支援機能の連携が難しい

➡中央公園施設以外に子育て支援機能や子育て世帯が求める相談機能を備えた施設などが近くにないため、他の施設との連携が難しい。



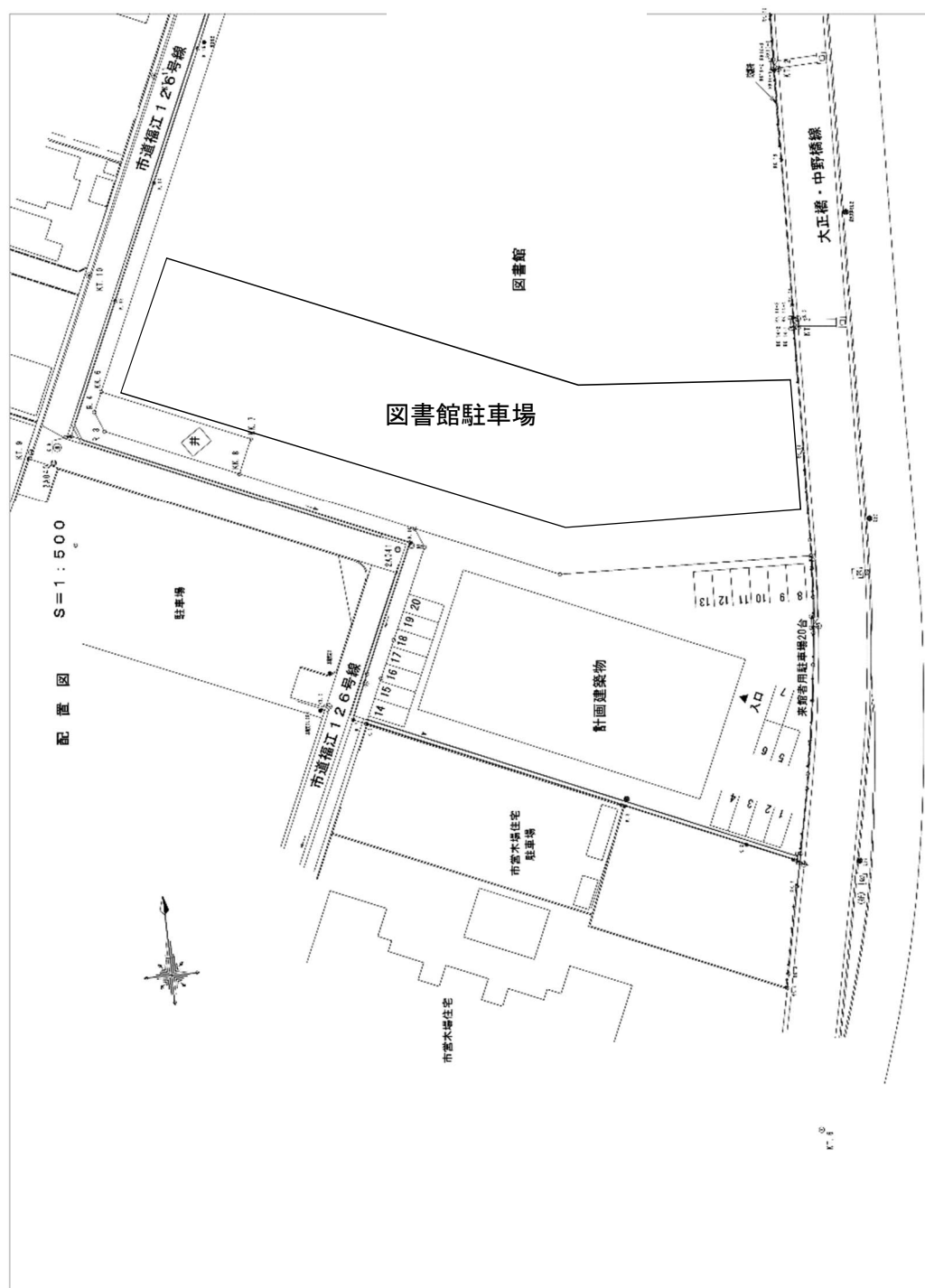
(2) 位置図

建設候補地は、市立図書館、行政機関、中心市街地の周辺に位置しています。人々が集まる場所が増えることにより、交流が促進され、周辺地域の活性化や各施設の利用促進につながります。また、福江総合福祉保健センターや市立図書館との連携が図られ、子育て支援に特化したエリアとなることが期待できます。

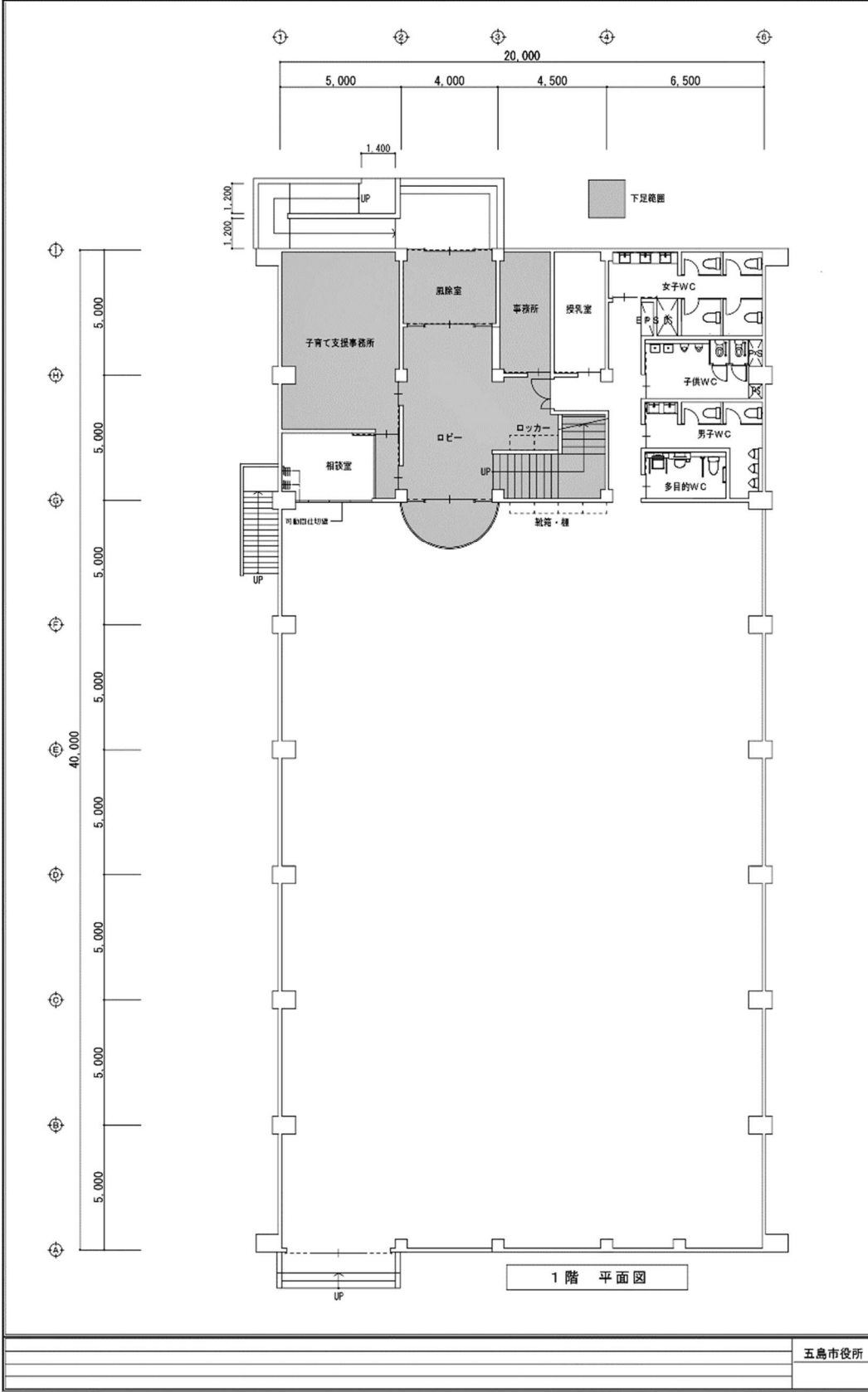


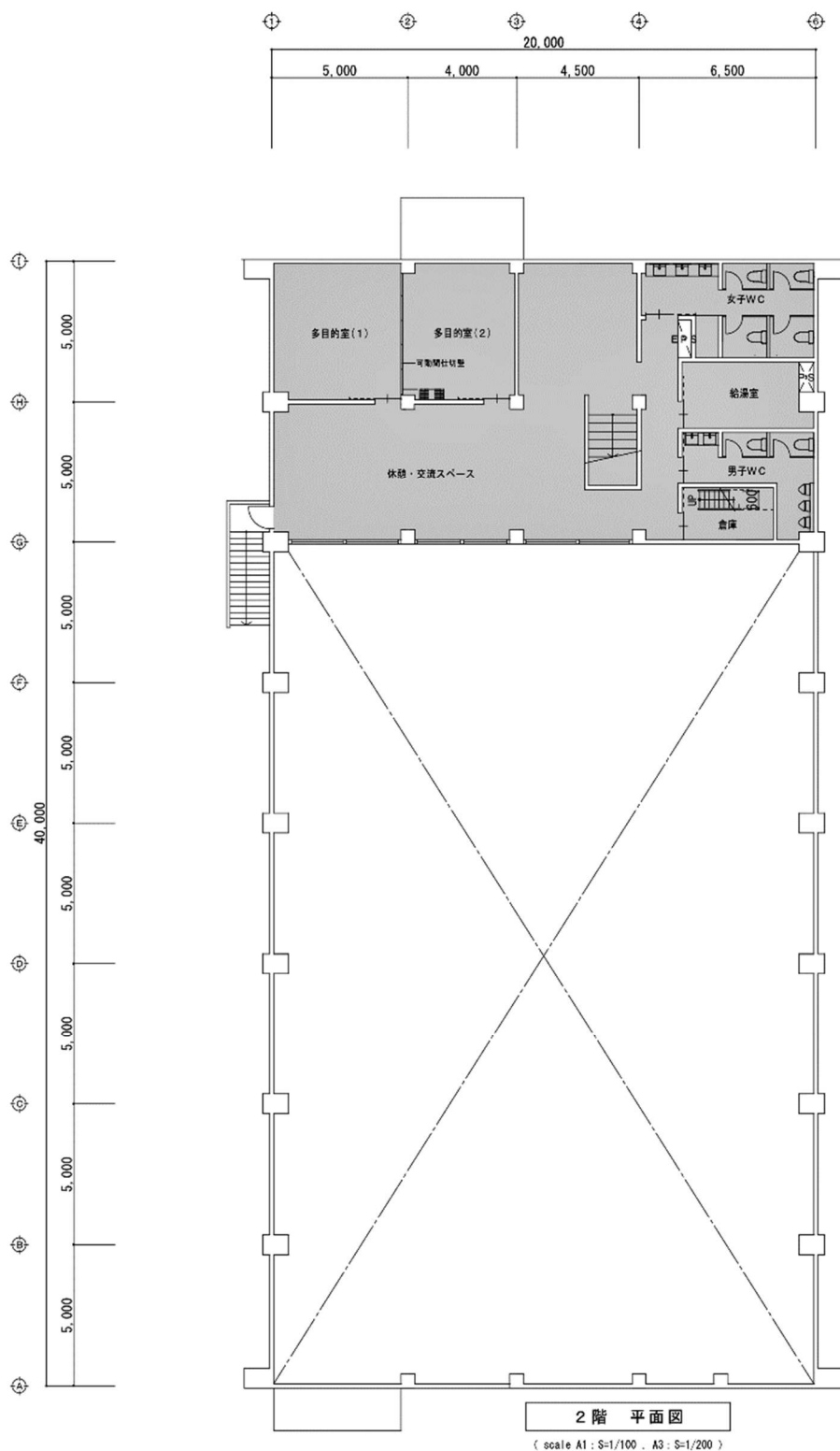
(3) 配置図

建物は、市道大正橋・中野橋線に面した側に出入口を配置し、利用者の駐車場は、前面の駐車場のほか、図書館駐車場を共同で利用する予定です。



(4) 平面図



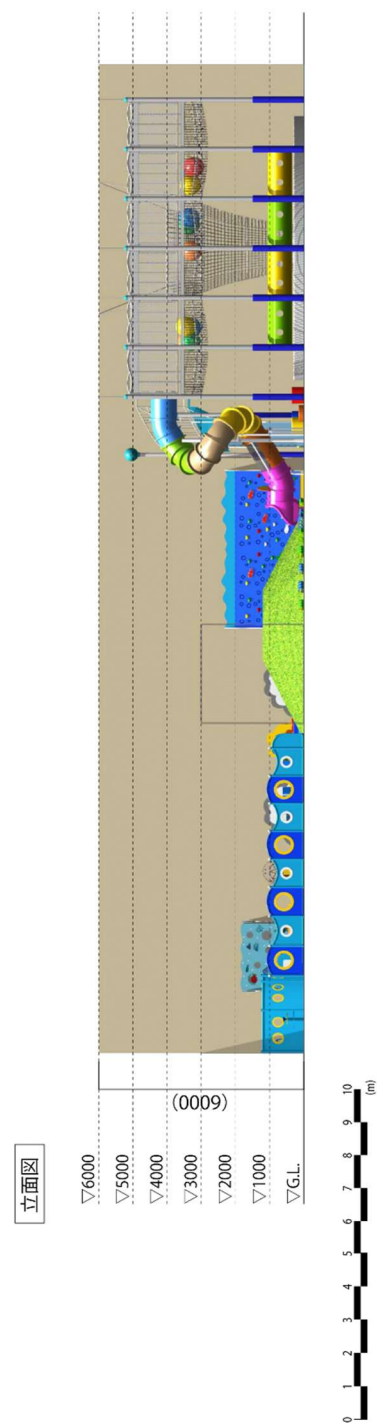


図面番号	
標準図面 (A1)	201.02
標準図面 (A3)	1010.01
標準図面 (A4)	
標準図面 (A5)	

計画	設計	製図	工事名	縮尺	図面番号
			五島市児童厚生施設新築工事	A1:1/100, A3:1/200	No. A-01
			図面名 1階・2階平面図	年月日	令和7年8月

[illegible]

※パースはイメージです。色の仕上がり等実物と多少異なります。



※ハースはイメージです。色の仕上がり等実物と多少異なります。

(6) スケジュール

新施設の整備スケジュール（予定）は、下表の工程を想定し、供用開始は令和１０年１１月頃の開業を目標とします。

ただし、想定スケジュールについては、今後の詳細検討や関係機関との協議等により変更する可能性があります。

	令和７年度				令和８年度				令和９年度				令和１０年度			
	４～ ６月	７～ ９月	１０～ １２月	１～ ３月	４～ ６月	７～ ９月	１０～ １２月	１～ ３月	４～ ６月	７～ ９月	１０～ １２月	１～ ３月	４～ ６月	７～ ９月	１０～ １２月	１～ ３月
基本構想																
実施設計																
工事準備																
工事																
開業準備																
開業															★	

8. 運営、管理計画

8. 運営、管理計画

(1) 管理運営の基本的な考え方

当施設の基本理念（コンセプト）をカタチにするためには、遊具の充実だけではなく、魅力的なイベントの企画や開催、運営が重要となります。

ここでは、当施設で子どもたちの能力を育んでいくためにはどのような運営が必要となるか、また、地域の方々が活躍できる場とするためにどのような仕組みづくりが必要かなどを検討し、次のような方針をもとに、運営、管理計画を定めます。

基本方針① 子どもたちの学びと遊びの能力を育むための取り組み

保育園や認定こども園、学校での学びとは別に、この施設での体験によって、子どもたちが未来を力強く生き抜く力となる能力を育む取り組みについて検討します。

また、主に乳幼児期の父母・祖父母の子育ての悩みに寄り添い、地域の子育て力の向上に寄与する機能の整備についても検討します。

【主な方策】

- 異なる年齢層の子どもや親以外の大人とのコミュニケーションを促すしかけづくり
- 子どもたちが自分の個性や得意なことを伸ばせるためのヒントとなる多様な体験の提供
- 親同士がコミュニケーションを取れる場づくり など

基本方針② 多彩な人材の活用や団体・企業等の協力

地域の子育て力の向上や、この施設を起点とした地域経済の活性化を目指し、学生や多彩な人材の活用、団体・企業等との協力、連携をした管理運営のしくみづくりを検討します。

【主な方策】

- 市内の協力団体や子育て支援団体等が当施設を活用して、子どもの仕事体験や体験型イベントの開催など、団体等が持つアイデアや専門知識を活かしやすくし、より多くの参加者が関わりやすい環境を整える。
- 当施設の運営に関わる人材確保のための地域住民やボランティアの協力
- 夏休み期間中の大学生、インターンシップの実施
- 中学生、高校生による遊びの企画及び実践（遊び方のヒントをくれる）

(2) 周辺施設との連携

◆ 保健センターとの連携

保健センター（こども家庭センター）との連携により、子育てに関する悩み、相談に対するサポート、必要な支援を受けやすくなります。こども家庭センターとのつながる拠点機能を設けることで、子育て中の保護者や地域の子供たちにとって心強い支援体制を構築することができます。

◆ 図書館との連携

図書館と遊び場が隣接することで、子育て世帯を中心とした地域住民がそれぞれの施設を利用しやすくなり、集う人々が増えることで地域活性化につながります。また、親子や親同士、多世代が図書館や遊び場で交流することで、地域全体のつながりが深まることが期待できます。

◆ 共同イベントの開催

保健センターや図書館と連携することで、親子が一緒に参加できるイベントの機会が増え、親子間のコミュニケーション、子ども同士や親同士の交流が促進されることが期待できます。

(3) 開館時間、休館日、利用料金のイメージ

類似施設の開館時間等については、開館時間を 9 時又は 10 時、閉館時間を 17 時又は 18 時までとしている施設がありました。また、土日祝日の混雑を緩和するために予約による時間入れ替え制としているところがありました。館内の清掃等の衛生管理、遊具の点検については、開館時間前、閉館後、入れ替え時間の間に実施している施設がありました。

類似施設の運営状況を踏まえて、開館時間、休館日、利用料金のイメージについて、下記のように想定します。

① 開館時間

当施設の開館時間・休館日については以下を基本として検討していきます。

開館時間（案）	●9：00～18：00 ※時間入れ替え制を検討
休館日（案）	●土日祝日は開館し、平日に休館日を設ける。

② 主な利用者

乳幼児、小学生、中学生、高校生、保護者、妊産婦、子育て支援の活動を行う団体等
※遊び場での小学生低学年未満の利用については、保護者同伴を検討しています。

③ 利用料金

当施設の利用料金は、遊び場ゾーンを有料とし、具体的な利用料については、アンケート結果、類似施設の状況、ランニングコストを参考に次のとおり検討します。

遊び場ゾーン	有 料
休憩・交流ゾーン	無 料

④ 利用方法

独自の予約システムによる予約制を検討しています。

【参考 類似施設の開館時間等】

施設名称	開館時間		利用料金	備 考
	平日	土日祝日		
A 施設 長崎市 あぐりドーム	9 : 00～17 : 00		・小学生以下 250 円 ・保護者 100 円	・休館日：水曜日 ・時間入れ替え制（4 部制）
B 施設 北九州市 元気の森	10 : 00～18 : 00		・小学生以下 100 円 ・一般 200 円	・休館日：第 1・第 3 火曜日、年末年始
D 施設 新上五島町 きらり	9 : 00～16 : 30		オーシャンエリア ・未就学児 無料 ・小学生以上 200 円	・休館日：木曜日、年末年始（12/29～1/3）
C 施設 諫早市 こどもの城	9 : 00～17 : 00		無料	・休館日：月曜日（月曜日が祝日・休日の場合は翌平日）

(4) イベントの企画・関連施設との連携の検討

身体を使って楽しむイベントから、親子をはじめとして、異なる年齢層の人々も一緒に楽しめるプログラムを企画し、子どもたちが自分の好きを見つけるきっかけをつくります。

また、みんなとふれ合いながら、協力し合ったり、一緒に楽しめる遊び、学べるイベントを企画していきます。

種 類	概 要	イベント企画例	関連団体・協力団体例
身体を使ったイベント	のびのびと身体を動かし、健康な心身を育むプログラム	●ミニ運動会 ●遊びを考えるワークショップ	社会福祉法人、NPO 法人、保育団体、高齢者団体、ボランティア団体、子育て支援団体など
乳幼児・保護者向けイベント	乳幼児とその保護者に向けた子育てプログラム	●子育て支援に関する講座（子育ての悩み、プレママ・プレパパサロンなど） ●親子ヨガ、ベビーマッサージなど	
みんなと交流して楽しめるイベント	親子をはじめとして、地域に住む大人も一緒に楽しめるプログラム	●親子チャレンジ ●遊び方教室 ●昔遊びイベント ●e スポーツ	

(5) 管理費（ランニングコスト）

類似施設の運営については、民間事業者等を指定管理者として指定して管理運営を行わせる「指定管理者方式」と市が運営する「直営方式」による運営がみられます。

運営にあたっては、施設の維持管理業務の一部を民間等へ業務委託することは可能であるため、質の高いサービスの提供やコスト削減などの検討を行っていきます。

スタッフの配置については、遊びの支援等に携わるスタッフや子育ての悩みや相談に応じるスタッフの配置が必要になりますので、任用形態など、類似施設を参考に調整していきます。

また、現在、保健センター4Fで運営している「ふくえ児童館」、2Fで相談業務を行っている「まちなか子育て相談室歩む」については、全天候型こどもの遊び場施設へ統合し、新たな管理経費の増加を抑制します。

① 類似施設の運営状況等

施設名称	面積	スタッフ数	備 考
A施設 長崎市 あぐりドーム	1,753.67 m ²	・常勤 18 名	・指定管理者方式 ・休館日：水曜日 ・時間入れ替え制（4部制）
B施設 北九州市 元気の森	3,078 m ²	・常勤 13 名 ・非常勤 30 名	・指定管理者方式 ・休館日：第1・第3火曜日、年末年始
D施設 新上五島町 きらり	・旧校舎 約 1,560 m ² ・旧体育館 約 680 m ²	・常勤 2 名 ・非常勤 6～7 名	・直営方式 ・休館日：木曜日、年末年始（12/29～1/3）
C施設 諫早市 こどもの城	2,884 m ²	・常勤 17 名 （フルタイム 6 名、 パート 11 名）	・直営方式 ・休館日：月曜日（月曜日が祝日・休日の場合は翌平日）

② 市の類似施設の管理費等（直営方式）

施設名称	面積	人件費	維持管理費	
保健センター	約 4,712 m ²	128,173,773 円 職員 13 名 会計年度 11 名	33,226,361 円	・光熱水費 7,851,013 円 ・燃料費 5,355,067 円 ・委託費 18,361,498 円 （清掃委託ほか） ・その他 1,658,783 円
うち 児童館分	約 294.6 m ²	7,265,979 円 会計年度（3 名）	2,077,352 円	※児童館占有面積相当分試算

※令和6年決算額参考

③ 想定運営費

構想の段階では、人員配置や運営形態の詳細は定まっておりませんが、他市の施設の運営状況、市の類似施設の管理費等を参考に、直営方式として、配置見込人数、運営費の内容を次のとおり想定しています。

●職員の配置

項 目	内 容
受付、遊戯スペース	配置人数は、平日4人、土日、祝日6人を想定しています。 ・施設管理、受付 2名 ・遊戯補助 2～4名 ※夏休み期間などの多客期では、臨時的に増員した対応が必要な場合も想定されます。実態に応じた柔軟な体制を構築します。
相談支援	配置人数は、常時2人を予定しています。

●想定運営費

区分	項 目	内 容	想定経費
受付、遊戯スペース	人件費	○施設管理、受付、遊戯補助等 ※想定経費は、常勤職員6名分を想定。積算は、現在の児童館職員の人件費を参考。 ※多客期等シフトに変更がある場合、経費の増減が生じる可能性がある。	14,631 千円
	維持管理費	○光熱水費、委託費（清掃、浄化槽保守等）、消耗品費、役務費等 ※想定経費は、①類似施設の運営費、②市の類似施設の管理費を参考に独自試算 ※猛暑、寒波時の季節変動により、経費の増減が生じる可能性がある。	10,922 千円
相談支援	委託費	○子育て相談支援業務委託 ※想定経費は、国が定める利用者支援事業の補助基準額	9,671 千円
合 計			35,224 千円

●財源

区分	内 容	金額
国	○子ども・子育て支援交付金 利用者支援事業 9,671 千円 × 2/3	6,447 千円
一財	○一般財源 児童館、子育て相談業務の統合による人件費、委託費の財源を活用してもなお、不足分として約2千万の財源が必要 ・純増分 18,287 千円 ・既存事業統合分 10,490 千円 (児童館運営費 7,266 千円、子育て相談業務 3,224 千円) ※財源不足分については、企業版ふるさと納税、クラウドファンディングなどの財源確保策を積極的に活用していくことを検討しています。	28,777 千円

9. 参考資料

9. 参考資料

(1) 五島市の現状（人口推移）

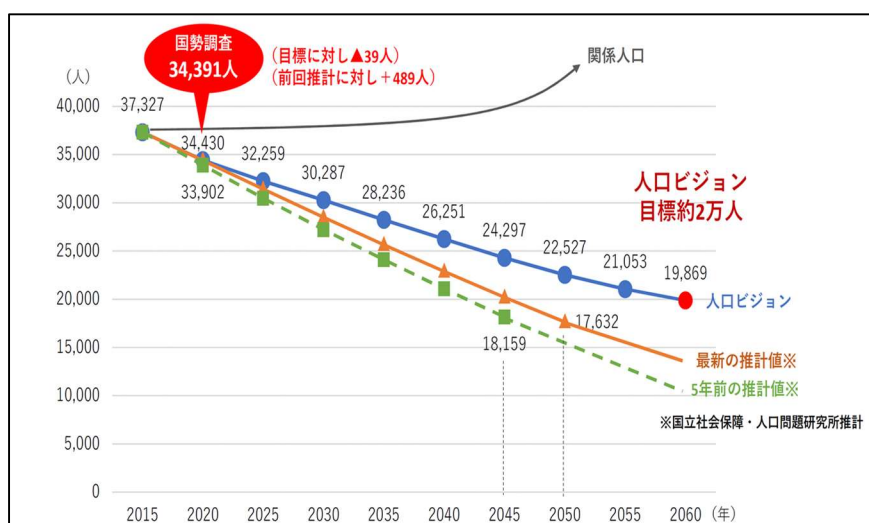
各種データから五島市の現状について整理を行いました。

① 人口の推移

i) 第2期人口ビジョン（R2～R6）

五島市の人口は、2020年（R2）34,391人（男16,141人、女18,250人）となっており、第2期人口ビジョンでの目標値（2020年：34,430人）を若干下回っています。

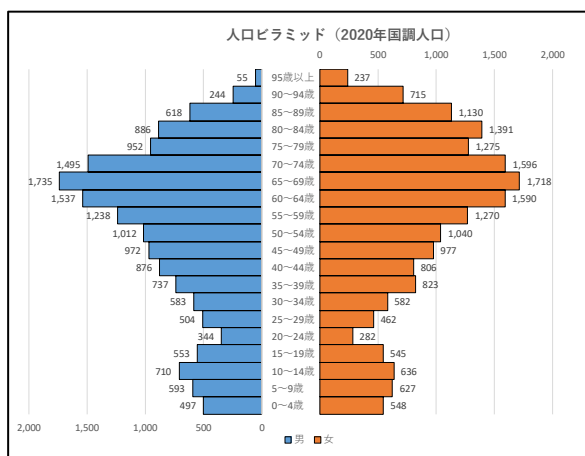
国立社会保障人口問題研究所の最新の推計値（R5.12.22公表）は、5年前の推計値（H30.3月）と比べ改善傾向ではありますが、2060年、本市の人口目標2万人に対し、1.3万人と▲7千人ほど下回る予測となっています。



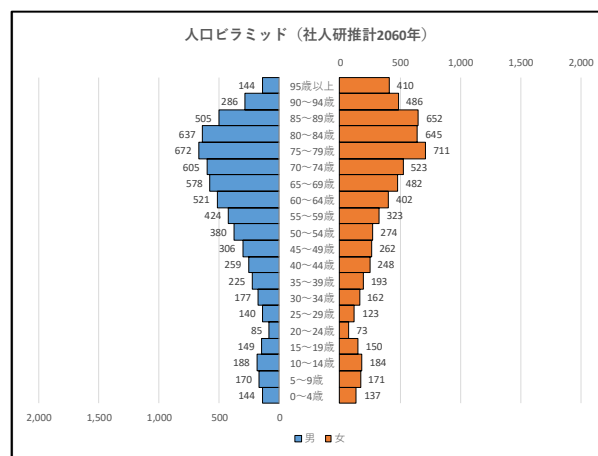
（資料）国立社会保障人口問題研究所推計値及び五島市独自推計値

ii) 人口ピラミッド

五島市の2020年人口ピラミッドは、65～69歳の人口が最も多く、20～24歳の人口が極端に少なくなっています。この傾向は、第1期五島市子ども・子育て支援事業計画策定時（H27）からほぼ同じであり、2060年推計からも、今後も概ね同じ年齢構成が続く予測であります。



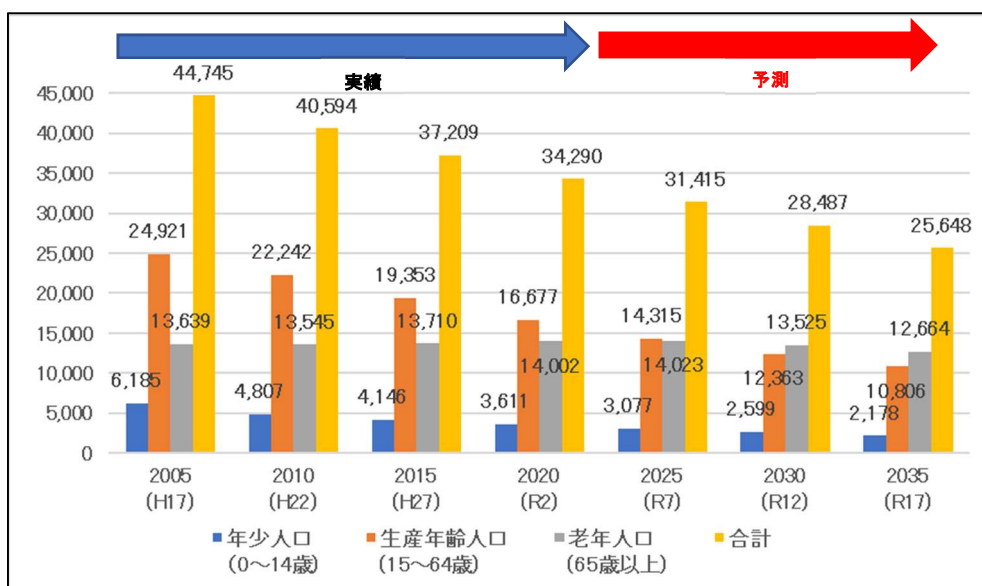
（資料）国勢調査



（資料）国立社会保障人口問題研究所推計値

② 年齢3区分別人口の推移

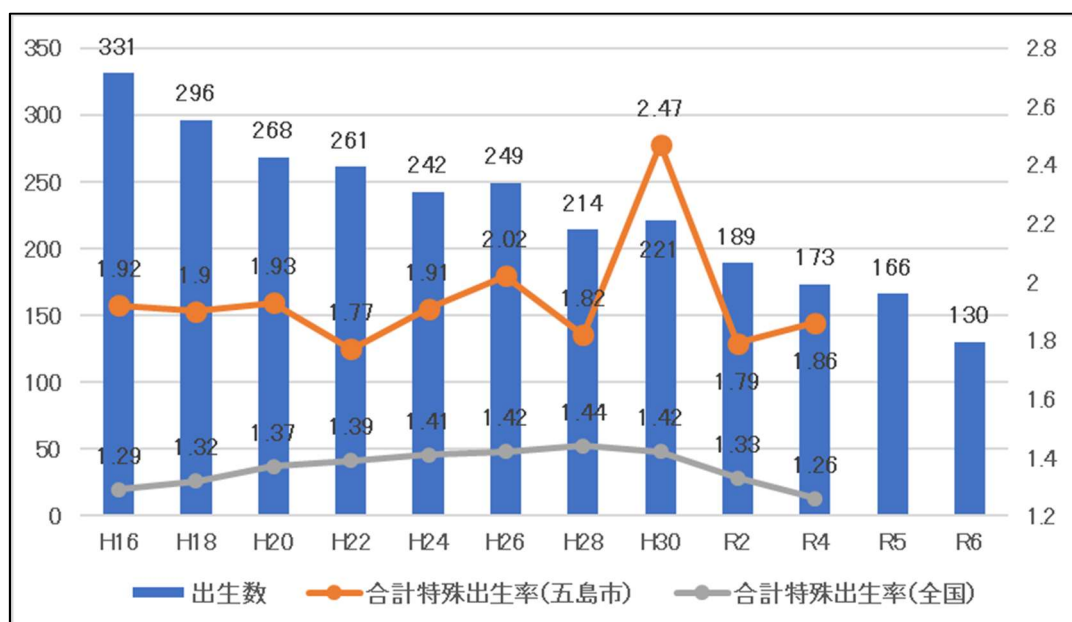
今後、年少人口は、2005 年（H17）と比較すると 2025 年（R7）には▲50.3%（3,077 人）、2030 年（R12）には▲58%（2,599 人）、2035 年（R17）には▲64.8%（2,178 人）になる予測となっています。



（資料）国勢調査及び国立社会保障人口問題研究所推計値

③ 出生数、合計特殊出生率の推移

五島市の出生数は、2006 年（H18）に 300 人を割り、現在まで減少傾向にあります。合計特殊出生率については、全国よりも高い数値を維持しています。



（資料）長崎県福祉保健部「衛生統計年報（人口動態編）」

④ 未就学児童施設の状況

i) 施設の内訳と入所児童数

五島市では、令和7年4月1日現在、保育所が9施設、認定こども園が7施設、小規模保育事業所が1施設、事業所内保育事業所が1施設、家庭的保育事業所が1施設となっています。

入所児童は902人となっており、待機児童数は0であります。

	区分	施設名	R7.4.1時点 入所者		
			0～2歳入所児童	3～5歳入所児童	計
1	保育所	文化保育園	322	580	902
2	保育所	みどり丘保育園			
3	保育所	善教寺保育園			
4	保育所	平和のばら保育園			
5	保育所	幼徳保育園			
6	保育所	若草保育園			
7	保育所	聖マリア保育園			
8	保育所	鷺浦保育園			
9	保育所	白百合愛児園			
10	こども園	とみえ認定こども園			
11	こども園	恵ブラザこども園			
12	こども園	こもれびの舎こども園			
13	こども園	聖母保育園			
14	こども園	双葉幼稚園			
15	こども園	第二双葉幼稚園			
16	こども園	福江幼稚園			
17	小規模	奈留さくら保育所			
18	事業所	つばき保育園			
19	家庭内	キッズルームたまちゃん			

ii) 未就学児童の年齢別入所率

五島市の未就学児童の全体の入所率は、84.9%と高い割合で、こども園、保育所へ入所しており、1歳児から高い数値となっております。

	R7.4.1時点 入所者						
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
入所者数	35	132	155	182	199	199	902
年齢別人口	114	147	194	191	208	209	1,063
入所割合	30.7%	89.8%	79.9%	95.3%	95.7%	95.2%	84.9%

※ 年齢別人口は、R7.4.1時点の住民記録人口

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	廃校になった学校などを利用して、絵画教室や工作教室、体験イベントなどできると良いと思う。体育館なども解放して遊具なども置いてもらえたら雨の日でも身体を動かすことができると良いと思う。自然と調和する木育施設などが全国にいくつかあるが、そのような施設を参考にしても良いと思う。また、渋谷区の子育て支援センター「co 渋谷」なども参考になると思う。
女性	40代	「こどもでじまはく」に行きましたがとても楽しかったようで二日間遊びまくりました。あの時のような大型の遊具があると嬉しいです。
女性	30代	五島でローラー滑り台がなくなったので、ローラー滑り台がしたいと子供が言ってます。斜面の急な滑り台、長めの滑り台も喜ぶと思います。レゴなど指先を使ったものは、今ある施設や、自宅でも経験できると思うので、新しくできる施設は、全身を使った運動遊びができる場所にしてほしいです。 メリッタキッズのようなもの、サスケの要素があるものも楽しめると思います。欲を言えば、ゴーカートもできたら嬉しいです。イベントで昔遊びコーナーとかあっても楽しそうです。竹馬したいそうです。五島らしさでいうと、鬼岳をイメージした滑り台とか、施設の窓はステンドグラスも素敵ですね。でもそこにお金をかけるより、遊具にお金かけてほしいですね。楽しみにしてます。
女性	30代	お金を支払ってでも利用することについて子どもたちが利用する場合は1人複数どちらにせよ保護者が必ず付き添いで一名必須にし、保護者も利用料を支払わなければならないシステムにする。料金を設定することについては、維持管理料や人件費として少しだけでも設けて良いと考えます。
男性	30代	子供出島博のようなアトラクション都会のように有料でいいので作って欲しい。子供の遊び場が無さすぎる。老人施設ばかり。いらないところに税金使いすぎ。
女性	40代	去年、中央体育館にきたこども出島博にあったようなアスレチックがあったらいいなと思います。
女性	20代以下	ものづくり体験とかもできるところがあったら楽しいと思います。（おもちゃ作り、バラモン風やサンドアートなど）
男性	30代	計画の段階から、現役のパパやママ、保育士等を話し合いの場に入れて進めてほしい。異常気象で公園で遊べない日が多いので、滑り台やボルダリングなど、体を使って遊べる施設がよい。駐車している間に車内が高熱になって危険なので屋根付きや地下の駐車場にしてほしい。男親でもトイレ補助しやすい作りにしてほしい。多目的トイレを複数作るとか。図書館のような丸見えのトイレは、親としては不安を感じる。学童に入れない子が利用できるように、小学校高学年の児童が下校後に居られる場所にしてほしい。登校できなかった児童と親が過ごせるように、平日の昼間も開けていてほしい。乾燥機があって洗濯物を乾かせるとか、お弁当の販売があって昼食を済ませられるとか、遊んでいる間にタスクが一つでも終わると非常に助かる。平和のばら保育園が閉園するらしいので、先生たちに声をかけてみては？保護者からの評判が良い保育従事者を手放すのは勿体ない。
男性	30代	自然に触れることは現在でも可能だと思う。雨でも走り回れる、公園の遊具で遊べる、全身運動ができる、そういった施設を求めます。
女性	30代	家の中ではテレビやタブレットばかりみて発達に必要な動きを獲得することが困難です。遊具で身体を動かして発達に必要な動きを獲得できる施設を希望します。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	40代	雨の日でも子供たちが思いきり体を動かせるような広さや遊具がある施設があると助かる(施設利用料に関しては置いてある遊具やおもちゃの種類による)施設料とは別料金で幼児向け体操教室などがあっていいと思う
女性	40代	五島には動物園や水族館がないため、島外にでないと本物の動物を見せてあげたりすることがなかなかできません。遊具だけでなく移動動物園やサーカスといったようなさまざまなイベントが定期的にあるほうが子供たちの経験も増え、感受性も養われるのでありがたいです。また午後から利用できる支援施設もかなり少ないため、朝から夕方まで平日も土日祝日も利用できるほうがいいです。さらにいえば、スーパー銭湯のような都会にある岩盤浴やお風呂がある施設があれば、子供と大人も楽しむことができ、コミュニケーションの場にもなると思います。『島だから無い、できない』と子供に思わせたくなく、小規模でも遊具だけでなく、上記のようなこともできる施設であれば有料でも利用したいと思っています。
男性	30代	雨の日に集中して人が来た場合、混雑が少し心配。(仕方ないことだと思いますが)有料に賛成です。この前、ミスドが五島に来ましたが、月に1回くらいそういうイベントがこの施設に併設したちょっとした広場であるとか、五島にはない、本土の子供たちは普通に利用しているような体験ができるといいなと思いました。五島内のお店でもいいと思います。
女性	30代	午前中に遊んで、そのままお弁当を食べられるようなスペースがあればお昼からも遊べていいなと思います。五島は海が魅力なので、砂浜の砂を利用したお砂場などがあれば素敵だなと思います。
女性	40代	オールインクルーシブホテルのように贅沢は言いませんが食事も出来て体を動かせ1日いても飽きない所だと移動もなく助かります。移住して14年経ちますがずっと雨の日遊ぶところが欲しいと思ってました。シティモール、体育館、カラオケ。どこも子供3人で行くとお金がとてもかさむので大変でした。NP、すすく、ファミリーサポートなど五島市は子育てしやすい環境にはあり友人が出来て移住し、1年とても大変でしたがそこで救われました。小さいテリトリーになると話したりもしやすくなるので室内の遊び場が必要だと思います。昨年の出島博とても親子共々体を動かせ楽しめました。体を動かせ、安心な遊具が室内にあってほしいです。
女性	40代	1屋根付きの駐車場がよい。雨の日はチャイルドシートと格闘している間に保護者はびしょ濡れになるので。また、避暑機能もほしい。異常気象ですぐ車内が暑くなりチャイルドシートに乗りたがらなくなるので。 2コインランドリーを併設してほしい。子どもを遊ばせている間に家事が一個済んだら保護者の負担が軽くなる。 3おにぎりやお惣菜の販売があると助かる。でも、お菓子やジュースは置かないでほしい。買ってほしいと子どもに駄々をこねられたくない。 4ここ数年はとにかく暑くて公園でなかなか遊べない。公園との棲み分けは考えず、公園で遊べない期間に体を使って遊べる施設として計画を進めてもらいたい。 5学童に入れない小学校高学年の子どもの居場所にしてほしい。路線バスやチョイソコの停留所を作してほしい。
女性	30代	可能であれば屋外の公園と屋内でのこども館的な屋内施設が併設されていたらいいなと思います。また、駐車場やベビースペース等が完備されてると助かります！また持ち込みのおやつやお弁当を食べられるスペースがあるのもとても嬉しいです。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	大型施設を作って欲しいなと思っています。今は雨が降ったらシティモールのゲームセンターや買い物やプールと限られてるような気がします。図書館で過ごしても、元気な小さな子を抱えてる身としては静かに出来ないし走り回ったりして余計周りに気を使います。親が土日休みで、毎週天気が悪い時もあるって子供達に今週も外へ遊びに連れて行けなくてごめんねっという気持ちになります。のびのびと子育てをしたいので、小さい子も元気に走り回ったり出来る場所がほしいです。 ●小学生と未満児が同じスペースで遊べる場所。（兄弟で遊べる） ●小学生と未満児が別で遊べる場所を。 （去年デジマ博の時に同じスペースでボールで遊んでた時、小学生の子達が思いっきりボールを投げてて同じ空間にいた小さい子に当たったり、小学生の元気に小さい子がビックリして遊ばなくなってしまったのを見たので） ●小学生には大きなアスレチックやターザン 岡山県のポケットパーク、ラウンドワンを参照にしていだけたら。 ●小さい子はボールプール（広め）、滑り台、重機の乗り物で遊んだり。施設が小さいと遊んでも狭いねって思いたくないので大型を希望。
男性	30代	できる限り福江港ターミナルの近くにあれば、福江島のこどもだけでなく利用しやすい。
女性	30代	1つの建物では人数が集中してしまうため、できれば2、3箇所欲しい。 カフェスペースもあれば親もゆっくりママ友と見守られる気がする。 同世代の子供だけでなく、年齢関係なく一緒に遊ぶことができれば縦のつながりもできて良い気がする。
女性	30代	椿やさつまいも、魚など、五島ならではのモノをテーマにした、おしゃれでポップなデザインにして欲しいです。せっかくつくるのであれば、長崎本土から子ども連れが遊びに来たいと思うくらい、魅力的で個性的な施設であって欲しいです。冷暖房を完備し、災害の際には避難所にできるようにしたらいいのではないかと思います。
女性	30代	飲食スペースがあると、昼もゆっくり過ごせるのでありがたいです。昼寝をはさむ子供もいると思うので、ゆっくり休めるスペースも欲しい。
女性	40代	施設使用料金は、無料から低料金の設定。ここは、子ども達が元気に、走り回ったり大声を出しても大丈夫！運動は、もちろん音楽や芸術だって学んだり体験できちゃう！体操教室やダンス教室、絵の教室、イベントだってできちゃう！玩具スペースもあれば良いですね。伊王島のプレイキッズランドや福岡のノボルト、福岡おもちゃ美術館などを参考にしてみたらどうでしょう。
女性	30代	いらない服や雑貨などを持ちこんで無料で必要な方に持って言って貰えるスペースもあると助かります。
女性	40代	福江に集中せず、各地区に小さくてもいいので土日公民館など解放してほしいです。今ある場所を有効活用してください。遠いと雨の日に子ども達連れて30分以上は大変で。ある施設を快適にしてくれると嬉しいです。三井楽なら体育センター。体育館には冷房完備があれば嬉しいし、裏の畳の部屋も勿体無いです。子ども達はおばけで。と怖がってます。外は雑草ばかりで夏は特に虫が大変でした。昔は管理人がいて綺麗だったと聞きました。三井楽プール。子ども達は大好きです。ただ古くてすべりやすそうだったり、滑り台あるのに使えなかったり。改良されたら嬉しいし、もっと来る人が増えたらいいなと思います。最後に、万葉公園綺麗になり、子ども達連れて遊びやすくなりました。ありがとうございます。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	使っていない学校の体育館を複数利用して、遊具がある施設、遊具はないがプレイマットが敷かれていて安全に走り回ったり持参した遊具で遊べる施設など1つの施設に人が密集しないようそれぞれの場所に特色のある複数の施設を作してほしい。それか、校舎を利用して音楽室に楽器、図書室に絵本、体育館に遊具、パソコン室に知育玩具など各教室にエリアを設けてある施設も楽しそう。歳の離れた兄弟がいても同じ施設で遊べるのは魅力的だと思う。絵本や遊具は各家庭から不要になった物を譲り受けて再利用しても良さそう。特に2歳未満の子供を連れて図書館に行くと静かにさせるようスタッフから注意を受けるが、静かにしてと言っただけの年齢ではないので図書館の利用がしづらい。なので子供が多少騒いでも問題なく、大人同士もいろんな話をしながら本や絵本をたくさん楽しめる施設もあるといいなと思う。
女性	30代	有料で1時間〇〇円でこどもを預かってくれる機能があれば助かります。 奈留島は小さい子の遊び場や預かり場が保育園以外ないのでぜひ作ってほしいです。
女性	30代	閉校している体育館を利用して室内遊具を設備して欲しい。
女性	30代	五島の子供は、体を上手に動かして遊ぶことが出来るので、体育館みたいな大きな施設が出来ると色んな子供達が自分の思うまま遊ぶことが出来ると思います。大人が好き勝手に居酒屋にいったり飲んだりする場所があるなら、子供達が好き勝手に遊べる施設があれば良いなあと思います。
女性	40代	天候関係なく、子どもたちが「その施設行けば楽しめる！！まだ帰りたくない！もっと遊びたい！」と思うような施設が出来てことを期待します。 うちは男の子ばかりなので、ただ広いスペースがあるだけで楽しめるのですが、やはり雨の日は家の廊下でサッカーされると困ります。雨の日でもサッカー等ボール遊びが思いっきり出来る広い場があると嬉しいです。（市民体育館や学校の体育館は個人では自由に借りれないですし…）（統廃合して使われてない学校のグラウンドや体育館を開放してくれるだけでもありがたいです。）
女性	40代	あぐりドームにある白いふわふわドームのようなものがあれば赤ちゃんから小さい子まで遊べると思います！ドームを緑にして、鬼岳ドームという名前にしてみるのはいかがでしょうか？あと、有料の場合、あぐりドームのようにシステム化されてるととても助かります。チケットがあと何枚残ってるか？とかも予約時にわかるのでとても助かります！レストランは必要ないかと思いますが、飲食できるスペースがあれば軽食やお菓子を食べたりできるので助かります！とにかく雨の日に遊びに行ける場所がないので、屋内&屋外施設だととても嬉しいです！
女性	40代	安全で、たくさん身体を動かせたり、知育玩具があり、そとには滑り台やジャングルジムなどの遊具があると嬉しい。以前行ったことのある場所ですが、小学5年生と、3歳の息子が喜んで、遊べることでした（福岡県 モーヴィ芦屋）
女性	30代	子供を遊ばせるため、当該の施設を何度か訪問しましたが、ボールプールは子供が良く好んで遊んでいました。安全性が確保されると、親も少し気を抜いて見守りができて、助かります。軽食が購入できる機能があれば、昼食時間が少しずれても調整できるので、いいなと思います。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	40代	五島市の魅力を活かすのであれば、鬼岳の頂上周辺にプラネタリウムなどを巻き込んで作ると子供達が五島を感じられる施設になるような気がします。遊具も子供たちが興味を引くのが一番重要ですが、五島の名所や名産にちなんだ形や名称にするのも良いのではないかと思います。又、監視員がいてくれると親としては小学生(低学年)を遊ばせやすいです。※休日などに一回2時間とかで、保護者の連絡先を書いて預けられると買い物に行けるので助かる。あと、インターネットの予約制とかで体験ができたり、定期的にイベントをしてもらえると個人的にスケジュールを組みやすくして利用しやすいと思います。平日はバスの送迎付きとかで保育園等で利用してもらえれば、家族とも行きたい場所として子供達に浸透するのではないかと思います。あと、色々な自動販売機(ジュース、お菓子、アイス、軽食、日用品等)コーナーがあると手軽に行きやすいと感じます。
女性	20代以下	誰でも利用できるように規則等もしっかり決めて欲しいです。また全天候型だけでなく、気軽に利用できる近所の公園の整備をまず進めて欲しいです。富江ではあたらしい遊具が増え嬉しく思いますが、年齢によっては遊べない物も多いので幅広い年代が遊べると良いと思います。福江でも使用禁止の遊具がよく見られるので、使えるようにしてほしいです。
男性	30代	・かんころ餅ファイティング ・チキチキ！どんだけおんだけ ・てってこってとんとまり！ さあ、好きな名称を選びなさい
女性	30代	・小さい子どもでも安全に水遊びができる池や川があり、保護者が見守れる木陰がほしい・虫とりが好きなので整備、管理された森や草原で安全に虫とりさせたい・子どもと一緒に遊んでくれる職員がいたらいい・子どもや保護者が自由に食事がとれる場所がほしい(離乳食が食べられるように電子レンジを置いて欲しい)・赤ちゃん連れの家族も利用しやすいようにベビーチェアやベビーベッドを設置してほしい ※子どもが諫早市にある子どもの城が大好きでよく利用しているので施設やプログラムなど是非参考にしてほしい。 開館を楽しみにしています！
女性	20代以下	五島は自然が豊かだから、木を使った暖かみのある遊具とか、自然を感じられるものがあつたらいいなと思います。
女性	30代	ある程度人数制限があつた方が広く、安全に遊べる気がする。
女性	30代	1箇所だけではなく数箇所設けて欲しい
女性	40代	子供が自由に元気いっぱい、身体を動かして遊べて、親子で遊べて、赤ちゃんから小学生まで、エリア別に遊べたり、ご飯食べるとこ、トイレ、赤ちゃん用におむつかえ、授乳室、小学生くらいの子も元気いっぱい遊べて、安全で、うるさくしても大丈夫なエリア、少し静かにするエリアがあつたり、アスレチックや、夏はちょっと水遊びできたり。ヒーローショーがたまに開催されたり。たまに外にキッチンカーが来たり。ママパパも、ちょっとゆっくりできるソファがあつたり。子供も身体が疲れたら、ビデオコーナーで、ちょっとビデオや本を見てゆっくりするエリアも。有料で良いと思います。2時間幾らとか、決めたり。1日居たら幾らとか。ご飯飲み物は持ち込みオッケーにして、ゴミは必ず持ち帰りにする。等。
男性	40代	時間制でアプリ予約できるようなシステムだとよい。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	40代	緑小校区内に公園がないので、徒歩圏内で遊びに行ける場所があると助かります。
女性	40代	食事（持ち込み）をとれるスペースがあればありがたいと思います。
女性	40代	●広いボルダリング設備 ●学習スペース ●ゆったりとした飲食スペース（テーブル式） ●土日祝は市内の飲食店のお弁当を置く、本庁にあるようなコンビニの自販機や出来立てコーヒー販売 ●医ケア児やその家族にも対応したインクルーシブな設備（電源、休憩個室など） 有料であっても利用したいです。
女性	30代	中学生、高校生と大きくなっても過ごせるスペースも併設していると良いと思います。 遊具スペースや学習スペースが揃っていると1日通して過ごせて良い。 都会のような省スペースではなく田舎だからこそできる、広いスペースで実現されることを祈っています。
女性	40代	長崎市のおぐりドームのように、全天候型の建物と、そのそばに天気の良い日に遊べる外の遊具があればいいと思います。五島の自然を生かしたアスレチックなど。でも、小さな兄弟など、幅広い年齢で遊べるように、小さな子ども向けの遊具なども近くに設置してあると異年齢の兄弟であっても遊べると思います。外では親が近くで見守ったり、子どもたちが休憩できるスペースとして、ベンチや東屋みたいなものもあるとよいと思います。昨年4月に島外から引っ越して来ました。天候が優れないと遊びに連れて行く場所が図書館くらいしかないなと感じていたので、今回このようなアンケートに答える機会があって良かったです。施設ができるかどうか分かりませんが、前向きに検討していただきたいです。よろしくお願いします。
女性	30代	安全面から入場人数を制限して、ネットでの予約制にする。
女性	30代	人が少なく閉校してしまった保育園や学校の運動場や校舎、体育館など利用して色々できれば広いし行きやすい。
女性	40代	親も一緒に動けるような広々とした場所があれば、親子ともども運動不足解消をできていいですね。簡単な軽食を取り扱うカフェのような施設を併設して頂けると、休憩もできて良いのかなと思います。おままごとコーナーで五島うどん作りやカンコロ餅作りごっこができると地元を知るいい機会になって面白いかなと思います。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	40代	長崎市の県民の森の施設を利用した感想も加えて述べさせていただきます。まず、「子供でじまはく」の際の動向も踏まえると、五島市でも時間に応じた人数制限ありの予約制を取り入れるのが感染症対策など考慮すると、安全だと思います。 また、トランポリンのような体がぶつかる可能性の高い遊具の場合は、(子供たちには大変人気ですのであると喜ばれることうけあいです)体の大きさに合わせて、大きな子供と小さな子供がぶつからないような対策(年齢により利用時間を分ける、もしくは年齢ごとに別力所に2カ所設けるなど)が必要だと感じました。小学校高学年の分別のない子供が、幼稚園生にぶつかりケガをさせる場面を目撃しました。次に、ボールプールは、伊王島の施設で経験しましたが、小さな子供は潜って遊び、そこに小学生の子供がダイブするような場面もありました。(しかし年齢問わず子供たちには人気です)また、県民の森では長崎ヒノキを使っており、消毒にも耐え、かつ昨今話題のマイクロプラスチック対策にもなると思いました。ただ、小さな子供が口に入れているのが気になりましたので、そのあたりの対策が不可欠だと思います。よろしくお願い致します。
女性	30代	午前中行くのが遅くなった場合に昼食を食べることができる無料の飲食スペースがあれば、午後まで長く過ごすことができる。飲食スペースとは別に大人同士で会っておしゃべりできるような、椅子のスペースがあれば人が子どもがいない平日にお友達と使いたいと思う。(図書館では、おしゃべりできるスペースがないため) 外に小さくて良いので遊べる場所があれば、人が分散しやすく、なお使いやすいと思う。(五島はみんな知り合いのように繋がっていて、どこに行っても知り合いに会うので、分散できる方が過ごしやすいのでは) 使用料を取って、管理する人を置いて衛生的で管理されていて長期的に使っていける施設がよい。
女性	30代	長崎のあぐりの丘のような場所が五島にもあるととっても楽しいなと感じています。室内遊び場、室外遊び場、そこにはコスモスや菜の花の季節の花畑や動物や魚への餌やり体験場もあり、海がみえる場所で遊具で遊べるそんな自然を満喫できる場所が欲しいです。五島であれば、出入り口には椿が咲いてるのも素敵です。雨の日に遊ぶ場所で一番求めているのは、いかに体力を消耗させるかです。そこに楽しさと体験が混じれば、小さなテーマパークみたいな場所になるかなと思います。走り回れたり、ハイハイレースができる場所であったり、チームラボフォレスト福岡のようなプロジェクションで遊べるエリアがあったりが理想です。年齢別に遊び場を分けても下の子のおもちゃで遊びたくなることもあります。年齢制限を決めたエリアに分ける方が良いと思います。遊び場の行き来は子どもの自由に、清潔感、管理体制の強化、安全面のテスト、授乳室やトイレの数もしっかり確保する配慮は必ず忘れないでほしいです。親が快適でなければ連れて行きたくない場所になります。子ども視点と親視点、双方が快適に楽しめる場所が理想です。このような検討をしていただけた事、心より感謝です。
女性	30代	いつも子供達を集めてサッカーをするので、サッカーをできるスペースがあると嬉しいです。五島は廃校になった学校が多いので、廃校の体育館を無料開放して欲しいです。体育館の広さがあれば、子供達は自分たちで遊びを考えて充分楽しめると思います。多くの人が気軽に利用するためには、無料、予約なしの条件が必要だと思います。雨の日はどこで遊ぶか、親の間ではいつも話題になっています。みんな家で過ごされている方が多いので、素敵な遊び場所ができますように！楽しみにしています！

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	諫早市のこどもの城のように、どの年代の子ども、大人でも受け入れてくれ、家族だけでは体験しにくい自然との触れ合いの機会（沢登り、星空観察等）が定期的開催してほしい。また、こどもの城は、子どもと一緒に遊んでくれるスタッフがいて、動きたい盛りの小学生男子の相手になったり、ギターを弾いて参加者みんなで歌ったりと、参加者みんなが溶け込める雰囲気。スタッフが子供と遊んでくれることで保護者自身は少し力を抜けて他のスタッフと話せる等、地域で子どもと親を見守り虐待予防の観点からも良いと思う。支援者向けの講演もしているので五島市の支援者の方も、是非視察や講演を聞いてほしい。また、移住者や通勤族も多い五島では、核家族だけだと様々な世代の人、地域の人、自然との触れ合いの機会に限られるため、そのような機会を設けてほしい。
女性	20代以下	* 離乳食や子どもが食べれるおやつ などが置いてある * 相談室がある * 絵本を読めるスペースと体を動かすスペースが分けられている * コインランドリーが置いてある * 食育のことを考えた料理教室がある
男性	40代	阿蘇ファームランドにあるような、光るボタンを押すアトラクションなどは楽しかったです。あと、ファンタジーキッズリゾートにあるような、中に空気の入ったふわふわの巨大滑り台もあったら喜ぶと思います。食事スペースを設けて、そこに五島うどんなど五島ならではのメニューを設けたら、すごく魅力的だと思います。
女性	30代	長崎県の伊王島にある「ヴィラオリムピカ」は体育館のような施設を再利用しており、複数の遊びが体験できます。そのような施設があると子供だけでなく市民が利用しやすいと思います。五島市には廃校となった学校がいくつかあるため、活用すべきだと思います。有料でも施設が充実したものであれば必ず利用者はリピートすると思います。昨年の秋にこどもでじまはくが市民体育館で開催されましたが、2日間しかなく残念でした。五島市の公園は遊具の種類もあまりないので子どもたちは大喜びでした。更に利用者の対象も広げるために、ボードゲームなども置くことによって中高生や大人の方も楽しめると思います。また市役所の1階にあるような自動販売機も（コーヒーや軽食）の設置もしてほしいです。
女性	40代	五島市は関係ないですが、阿蘇ファームランドにあったリングタッチというのが面白かったです。光るボタンを押していくゲームです。がまだすドームにあった山のトランポリンも子供達が楽しそうにしていました。山を鬼岳風にしてトランポリンを置いて欲しいです、空気を入れる滑り台も楽しそうにしていました。シティーモールのゲームでお金を使うなら有料でもいいから身体を動かして遊べる場所があれば嬉しいです。
女性	30代	キッズランドUS 福岡アイランドアイ店【福岡市】 ファンタジーキッズリゾート福岡【糟屋郡志免町】 NOBOLT（ノボルト）【福岡市のような所のいいところ取りだけでもいいのでカラフルで安全室内遊びがあると嬉しいです。トイレ、おむつ台が綺麗で、休憩室あれば嬉しい、空気の入替えが出来るような施設だと嬉しいです…

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	科学館のような専門知識のある大人が教えてくれる実験教室のような施設レゴやケネックスや新幹線レールや磁石のおもちゃの量が大量にあると、家の限られた空間ではできない規模で子供が自由に創作できる玩具がそろった施設行事に合わせた工作など体験型イベントを開催してくれる施設。親子で楽しみたい。子供向け料理・お菓子教室。親子参加型料理・お菓子教室。親子で参加したいし、仲良しのお友達と一緒に参加したりしたい。本物の楽器に触れられる施設。木琴鉄琴やピアノ・バイオリンなど子供が小さいうちに触る機会が欲しい。プログラミング体験施設
男性	40代	とにかく身体を動かして楽しめる施設にしてほしい
女性	30代	海のそばなら遊んだ後にいつでも足が洗えると嬉しい。子どもの磯場遊びをエスコートしてくれるガイドさんがいたらいいな。貝掘りとかひゃーだことりとか…サマーキャンプの企画などもあると参加させたい。
女性	30代	遊ぶスペースがあり、食事のスペースもある施設があったらいいなと思います！都会のフードコートのように飲食を買えると嬉しいです。店舗が難しければお弁当の自動販売機など、市内にあるお弁当屋さんとも協力できればいいのかな、と思います。また、子どものための施設なら授乳スペースやミルクのためのお湯が出る機械があれば嬉しいです。市内のハンドメイドショップの方がワークショップ（有料）を開けるようなスペースもあると嬉しいです。全てを無料にするのではなく、このエリアは有料とかこの貸し出しは有料とかがあってもいいのかな、と思います。
女性	30代	トラブル回避のためにどの家族もしっかりルールを守ってもらいたい。職員を配置し定期的にチェックをしてもらいたい。
回答しない	40代	将来したいものが見つかるための体験が色々出来たらいいなと思う。スポーツだけではなく、音楽や文化的なものも体験出来ることが理想。以前、五島市が行ってくれたエア遊具などもあるといいかなと思います。五島市の魅力を活かしたものになると、小さいバラモンの製作（別料金とかで）や色付けなど体験できるのもいいのではないかと思います。この計画が計画だけ終わらないこと、長く利用できる施設ができることを願います。
女性	40代	どこの公園も年齢層が限定してるので、未就学の小さい子から小学校高学年くらいまで遊べるところがあればいいです。ただ中高生の溜まり場にもなりかねないので、無人はよくないです。受験生、宿題をお友達と寄り合って勉強できる場所があっても良いですね。図書館にもっと閉鎖的ではない気軽に利用できる個室があれば。カラオケ屋をそういった学習スペースにしたらどうですか。
女性	40代	福岡などにある屋内施設を参考にしてほしいです。有料でも、子供のみや保護者のみにしてほしいです。五島市は、土地がたくさんあるので屋外では動物と触れ合えたり、森の中にアスレチックなどの遊具があり併設で屋内があれば、おむつ交換な授乳施設もあればいいと思います。またおじいちゃんやおばあちゃんに見てもらえる事もあるので、バリアフリーにしてみたらありがたいです。
女性	40代	せっかく自然に恵まれているのに、釣りを経験したことのない子供がたくさんいます。親が釣りをしても、いい道具でなかなか子供に触らせたくありません。その気持ちもわかります。なので釣り堀が欲しいです。防波堤やテトラではない場所で釣りを経験させたいです。
女性	30代	今の中央体育館のそばにある、昔水が流れていた様な、多少濡れて遊べる場所があってもいいのかなと思います。海や川では危ない年齢の子でも遊べて、水にふれあえることができる場所はないかな～と感じます
男性	40代	理想は以前にあったこども出島博の様な施設ができたら嬉しい

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
男性	40代	五島市には遊び場が無さすぎる。子育てには不向き。Iターン、Uターンの方に力を入れすぎ。島民の方は呆れてますよ。子供がのびのび楽しく住める環境からかけ離れすぎ。島外に良いようにアピールするのはけっこうですが、観光に来た方はがっかりしてる。島民は何も自慢できない 恥ずかしいがっかり
女性	40代	あぐりの丘のような遊び場のイメージ。もしくは出島博のようなエア―遊具や子供が乗れる動くショベル(おもちゃ)などあればどの年代でも楽しめそう。広々としたスペースにネット遊具などがあり、ブランコや滑り台も0歳から小学生が利用できるように保護シートがついてあったりすると良い。0歳には木のボールプールなど、五島の木をつかってみても面白いかもしれない。親が見守れるように保護者ベンチもあると良い。場所は、新しく施設をつくるのはむずかしいと思うので、廃校の体育館などを利用してはどうか。
女性	40代	・五島市のイベント情報 ・発達（運動、認知、言語）のチェックリストや各相談窓口の紹介（ひまわりルームの詳細紹介）窓口の紹介や電話番号だけみても連絡する人は少ないと思う。より具体的な内容であるほどいい ・五島市の習い事やクラブチームの紹介 ・緊急時や急病時の対応が各一枚のポスター掲示やリーフレットで持ち帰るなど、冊子じゃないほうがいい（ケガしたら、やけどしたら、喉にひっかけたら、頭を打ったらなど知っておいて損はないと思う。） 上記内容は1箇所でも誰もがいつでも観れる場所に提示してあることが大事だと思う。 ・子ども用飲料の自動販売機（普通の自動販売機は量も多く料金も高いので幼児りんご1個みたいな） ・小学生高学年でも利用したいのでゴーカートなどアクティブに遊べるものがあつたらいい ・譲り合いの場として不要な洋服やおもちゃを誰でもが提供し、必要な人が持ち帰れるようなコーナー（移住前は子育て支援センターに設置しており、ひとり親でとても助かった。提供されたものの安全性や衛生面はセンターの人がチェックしていた。五島市はこども衣服店、洋品店が限られているため需要はあると思う）
女性	30代	土日祝限定でもいいのでフードコートがあつたら気軽に行けて1日中遊ぶことができ良いと思います 五島市の魅力を活かした子どもの遊び場については... チャンココ踊り体験エリアとかですかね...
女性	40代	今の子はゲームなので遊び、外で遊ぶ子供が減っていると思います。自分たちの子供の頃（小学生）は、友達と海に行ったり... 輪車遊んだりとしてました。室内で、遊べる場所ができれば小さい子どもと親子で遊べる遊具、室内の公園バージョンでもあれば助かりますね。
女性	40代	親も一緒に遊べるようにコインロッカーがあると便利だと思います。また、飲食が出来る場所があつたら良いと思います。
女性	30代	屋根付きの駐車場があり、イオンのような、遊び場とフードコート（マックやミスドなど）が一緒になっているものだと、頻繁に活用すると思う。
女性	30代	五島は遊ぶところが少なすぎです。大型遊具（滑り台がついているとの）、トランポリン、おままごと、回転するクッション性のある遊具、たくさん遊べるものがあると嬉しいです。せっかく作っていただけるなら有料でもかまわないので子どもたちが飽きずに楽しめるもの、家や幼稚園にはない遊び場を作って欲しいです。どうかよろしくお願いします。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
男性	40代	まじわる子が苦手な子もいます どうしても大きい子や気が強い子が占領してしまうと遊べなくなります 個別で遊べるものや発達障害者の子専用のスペースもあればいいと思います
女性	30代	身体をたくさん動かせる遊具があったら良いと思います。食事がとれるスペース（持ち込みも可）があれば長時間利用もでき、有り難いです。
女性	30代	バッティングセンターがあったらな～と話していました。
女性	30代	有料でもいいので広くて遊具の量が欲しいです。あぐりの丘のような身体を大きく動かせる所が欲しいです。
女性	30代	海や山に恵まれているので自然の施設もいいかと思います
女性	40代	佐世保や武雄にメリッタキッズだったと思いますが、全天候型施設があります。 有料ですが、スタッフが安全管理のため配置され子供達は遊ぶ時間が足りないくらいでした。そのような施設を参考にすると良いかと思います。昨春秋に五島で行われたデジマはくでしたか、五島中央体育館で遊んだようなものも、参考になるかとおもいます
女性	30代	全天候型の遊び場、とても需要が高いはずなので、ぜひつくっていただきたいです。 遊び場の規模にもよるかと思いますが、楽しみにして来たものの、人がいっぱいであまりのびのび遊べなかった…となることは避けたいので、あぐりドームのように定員を設けてネット予約等で管理するシステムもあればうれしいと思います。
女性	30代	オムツ交換台(立位用も) 子ども用トイレの充実
男性	30代	利用者が集中しすぎないように、設備を充実させすぎなくても、何箇所かに作ってほしいです。もしくは、時間制などにして人数制限を設けてもらえると安心して遊べるし、時間を守る練習にもなるので良いのではないかと思います。
女性	40代	食事スペースも、併設されていると行きやすいです。
女性	30代	子どもたちが安全に楽しく遊べる場所かできたら嬉しいです。
男性	40代	そもそも財政的に厳しいと五島市は言ってるのに必要無い
女性	40代	島外にでると、室内遊戯場によく行きます。中でもトランポリンは体も思いっきり使えて子供のストレス発散にも適していると思います。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	施設までの交通では安全面を、施設内は年齢別や、障害児なども安全に遊べるような空間があったらよいと思います。また、トイレ(オムツ替えスペース)なども、設備して頂けると助かります。飲食に関しては、衛生面を考慮し、遊び場での飲食は控えた方がよいと考えます。また、5歳以下には保護者の付添い必須や、監視の方がいてくれると(危険なときなどの声かけ)安心です。誰でも自由に出入りできるとなると、安全面が守られないため、利用する方と保護者の受付や、入場許可証がなければ入れないといった、防犯面も必要かなと思います！雨天時に遊ぶところがなく、子供たちはメディア利用時間が多くなりがちなので、もっと身体を動かして、周囲のお友だちとの交流や、ルールなど社会性を身に付けて欲しいと思います。 余談ではありますが、富江町では只狩山の再生を目指して、有志活動が行われています。昔は花見や、お弁当食べて、草スキーやターザン、アスレチックで遊んだりしていました！只狩山の展望台からみえる景色は本当に美しいです。その美しさ、愉しさを自分の子供たちに代々伝えていけたらいいと思います。ぜひご協力を宜しくお願い致します。
女性	30代	雨天の時の過ごした方もですが、公園の遊具も使えないままの物が多かったり、老朽化、猫のフンなどの衛生面などが気になっていました。このような施設、本当に待っていました。ご検討くださり感謝いたします。中央公園の新しい遊具も楽しみにしています。 手を加える必要はもちろんありますが廃校になった小学校など、使えないのでしょうか？（駐車場やトイレなどの設備は元々あるので…） 東京ドームシティのアソボーノは大型遊具スペースと、ままごとなどのスペース（静と動）が分かれていてとても良かったです。
男性	30代	自然豊かな島なので、島らしい環境を活かした施設があれば良いと思います。島内は基本車移動なので、広い駐車場が確保されていれば問題ないです。海や山、どちらでもいいですが、自然の中で遊ぶ場、海エリア、山エリア、川エリア、それぞれがあって、自然を学ぶアトラクションや身体を動かす遊具などを取り入れてみたら、楽しく遊べると思います。五島は子育て世代が多く、子宝の島にするためにも、子どもに優しい、親にも優しい自治体であってほしいですし、必要なところへ税金を使ってほしいです。高齢者への対応、健康増進に向けた予防医学への対策も、もちろん重要ですが、これからの未来を担う若い世代、子どもたちが歩んでいく明るい未来のために、素敵な施設を作ってほしいです。お金が必要な場合、企業誘致やコラボもひとつかなと思います。子どもたちが五島に誇りを持って、10代、20代で島を離れたとしても、また島へ帰りたいという気持ちを持って、将来の五島を盛り上げてくれるよう、未来への投資が重要だと考えております。一時的なブームで終わらせるのではなく、地域住民が住みやすい、心から居心地が良いと思える街づくりを心掛けていただきたい次第です。
女性	30代	施設の利用料金の質問で無料ならと回答したが、有料でもいいと思うがきょうだいがいる家庭などに配慮があるといいなと思います。うちも子どもが多いので。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	ネットの普及により昔より子供へ性的目的で近づく人がよく取り上げられています その面を特に注意して構造や監視カメラなど置いて欲しいと思っています これを機会ににネグレクトにあっている子供を割り出しやすくなると思います。思考回路が通常と異なる人は託児場がわりに置いて放置しそうです。 五島の魅力は自然なので体験型アトラクションがあると楽しそうですが中学生以上が安全です。 島の魅力を活かした遊び場とするならば、夏限定砂浜を利用したアート場を設置し、観光客と島民が楽しめるイベントを行う。 個人的にはバルクールやロッククライミングなど 体を思いっきり動かすことのできる場があると嬉しいです
女性	40代	お金をとってもいいので清潔、安全に造って頂きたいです。一般的な室内施設にあるような遊具があればいいですね。おそらく出ると雨の日が人があつまるので、広い場所や2ヶ所とかにあれば分散されるとは思いますが。
男性	40代	大人が子供を見守りながら、大人同士でお茶をしたり、デスクワークで時間を過ごせる場所とレイアウトにしてほしい。低年齢ほど近くで見守りができ高学年は遠目に見える程度がよい。遊具等は程々にランニングコストを低くして、誰でも利用しやすく混雑しても大丈夫な広い施設が良い。
女性	30代	このような施設嬉しいままにいました。五島は閉校がたくさんあります。 そのような体育館を再利用し各地域で行きやすい利用しやすい わざわざ福江まで行かなくても遊べる施設が嬉しいです。 行けば誰かいる行けば誰かと話せる 福江ばかりに図書館など新しい施設ができ利用のしづらさを小さい子がいると感じます。 地域に寄り添って使われていない体育館や五島らしく気分転換を兼ねて海の見える室内遊具施設も魅力的です。子育てママにとってとても味方になる施設になる事を願っています。
女性	30代	・年齢や発達に応じてエリア分けする必要があるが、親が一人で複数の子どもを連れてくることも想定して、各エリアは同じ場所に(同じ階)に設置してほしい。場所が離れると親が一人の場合は、目が行き届かない。 ・育児相談、介助(親がトイレや授乳に行く間に子どもを見てくれる等)、遊びの補助をしてくれる職員の配置。 ・食事(持ち込み)ができるスペース。調乳や離乳食の温めができるような設備(レンジや給湯器)があると乳幼児連れも安心して利用できる。 ・授乳スペース(女性のみ入れる)、おむつ交換スペース(誰でも入れる) ・子ども専用トイレ(親が介助できる) ・男女トイレ共に、個室内部におむつ交換台と子ども用トイレ(親が異性の子どもを連れて入ることを想定)、着替え台。 ・女子トイレの男児用小便器 ・多目的トイレを複数設置

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	40代	有料でもいいので、真夏の暑い日や雨の日の休日に遊びにいける場所があればすごく助かります。今は夏休みも暑すぎて外遊びができないのでしっかり体をうごかせる広い場所があると嬉しいです。子供の体力低下も問題になっているので。 新しい施設とはべつで… 三井楽の道の駅にある小さな小さな遊びスペースだけでもあるとすごく助かるので、既存の施設に小さなキッズスペースが増えたらいいなという気持ちもあります。施設ができて遊ぶ場所が1ヵ所だと休日は混みすぎて遊べない可能性もありそうなので
女性	30代	子ども出島博のような、アスレチックみたいな固定施設があれば嬉しいです。 また、日祝も開いていると大変助かります。五島は車移動が多いと思うので駐車場があれば助かります。小学生以上は、子どもだけで利用できると嬉しいです。 閉校した学校もあるので、そこを利用できると、図書室もあり、部屋も分けられ、いいかなと思います。（児童館のように遊びによって部屋が分かれていると遊びやすいかも？学校らしさを残すと、ごっこ遊びもできたり？） 食事や休憩スペースがあると小さい子がいる場合はいいかもしれません。雨でも思い切り体を動かせると子どもも満足できるかもしれません。また、体を動かす以外でも、ボードゲームなども充実していると、さまざまな子が楽しめるかとも思います。雨が降ると本当にできることが少なくなります。ぜひ、全天候型の遊び場をお願いします。新しく建物を作らなくても、閉校した学校、ボーリング場、売り施設などを利用して作ってほしいと思います。
女性	20代以下	遊び、昼食、遊び、お昼寝、の流れが好ましいので、昼食が摂取できる場所も設けて頂けたら助かります。できれば食堂のようなものがあり子供が好きそうな食事の提供があればありがたいです。五島市は大自然はもちろん、獅子舞やちゃんこ、風揚げなど大切な文化もあるので、歴史など知れるといいと思います。ちょっとしたシアターなどがあるとより五島を知るきっかけになると思います。ただ、大自然と言っても事故は防ぎたいので、安全完備はもちろんですが、それぞれの年齢に応じた部屋を儲けていただけたら安心です。雨の日でも遊べる場所として施設を儲けていただけたらいいのであれば、駐車証から施設までも雨に濡れないような環境にして頂けるとより足を運びやすいと思います。
女性	30代	以前島原半島に住んでいました。当時、子供が就学前でがまだすドームのこどもジオパークは頻繁に利用していました。施設内で地域性を活かしたワークショップもあったりして、そのような点で五島を生かせたら良いのかなと思います。 鹿児島市のりぼん館も屋内施設で良かったです。市の施設で、スタッフもいらして子育てを一緒にしてくれる感じが良かったです。
女性	30代	・子どもや保護者間トラブルをなくすために、利用の際は登録をすること。 ・利用者間のトラブルは施設管理人が仲介に入り、保護者同士の直接的なやり取りは最小限に留めること。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	雨の日は本当に遊べる場所がなく、自宅でゲームばかりしているので雨の日に走り回ったり、アスレチックで身体を動かしたり出来る施設があれば、とても便利だと思います。 ただ、有料でも料金が高かったり、福江に住んでいるので三井楽とか玉之浦とかの離れている場所に建てられたら連れていくのにも時間がかかるので、不便な所に建てられると結局は使わないのかな、と思いました。 理想は、子供たちが歩いてでも通える場所だと利用者も増えるのではないかと思います。 有料なら学年や年齢層毎に料金を決めて、1年パスポートみたいにすればいちいちお金を払わなくていいので、子供たちだけでも利用できるし便利だと思います。
女性	30代	大きな遊具がなくなっていったるので、体をたくさん使って遊べる遊具が欲しいです。 1箇所だけでなく、出来ることなら複数箇所作ってもらって、人が混雑しないようにしてもらえたらとっても嬉しいです。よろしくお願いします。
女性	30代	幼児用のトイレや給水しやすいように自販機や売店
女性	40代	例で言えば 佐世保公園きららパークのような大型遊具 室内で遊べるメリッタ佐世保のような施設や自然の中で全身を使ったチャレンジできるような遊具？アスレチック？があったら良いと思います！
女性	30代	制服やエプロンなどお仕事体験遊びができるようなエリアや夏には水遊びができるようなエリアがあればいいなと思います
女性	40代	一般の人でもフリマ出店できたり、ワークショップなどイベントが常設されていて、カフェスペースで食事も購入可能、持ち込みも可能で食事、軽食、お茶も楽しめて、子供達も遊具で遊べる様な長時間楽しめる施設。昔の遊びや諸先輩方への人生相談、魚の捌き方や漬物の作り方など料理講座、などなど親子でシニアの方々と交流が図れる様な出前講座も常設されてたら通いたい。
女性	30代	小学生以上になると、色々な遊具はなくても体育館の様な広いスペースさえあれば、ボールや縄跳びなど、また持参してでも遊べるのかなと感じます。 その際、小学生では活発な子とそうでない子でスピードや活動が異なってくるので、活動的なエリアと少しゆっくりとアクティブに遊べるエリアがあるとどちらの子もあまりストレスなく遊べるのかなと思います。 五島では3人以上の子どもを育てる方もよく見るので、多学年にわたる遊びの異なる子連れでも安心して遊べる環境（出入口が一つ、受付や見守りがある等）だと、兄弟の多いご家庭にとって助けになると思います
女性	30代	屋内アスレチックがあればいいと思うが、五島の魅力を活かすのであれば、海や鬼岳等を利用するのが1番だと思います。親も子供も自然の遊び方をいまいち知らないように感じるので、自然を使ったイベントがあるのも良さそうです。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	40代	子育て世代が遊びにくくすることで新たなネットワークを築いたり、子どもの人間関係がひろがっていきけるような場になるといいなあと思います。五島の魅力という点で屋外にビオトープなどもつくり晴れた日は外で自然の草花や小動物に触れられる空間もあるといいなあと思います。最近五島でも足育をよく耳にするようになったので足から健康に足つぼロードをつくったり、とにかくメディアから離れて楽しく体幹が鍛えられるような遊び場ができて欲しいと願っています。以前雨の日に遊ばせる場所が…と要望を出したことがありましたので、とても嬉しく思います。楽しみにしています。
女性	30代	東京都港区から引越してきました。その児童館で働き、利用もしていて、とても良かったです。未就学児、小学生以上の遊べる部屋、工作室、学童、体育館があり、体育館ではバスケができるほどの広さがあり、中高生も遊んでいたりと、三輪車もあり、時間を分けて、歩き始めの子どもたちも遊べて人気でした。今の児童館では広さが足りません。中高生もボードゲームなどが楽しめる場所があってもいいと思います。階を分けて、一つは高齢者が集まれる場所やカフェが入るといろいろな人が集まれる場所になると思います。五島市の魅力を活かすのであれば、海や鬼岳が見える場所で、窓が広くあると、開放感もあり、意外となかなか住んでいると見ることも少ないので、子どもたちにも見てほしいし、保護者も気分転換できるのではないかと思います。
女性	30代	ボルダリングや、やや難易度の高いアスレチックがあると嬉しい。あと定番な大型遊具も良いが、これはどうやって楽しむものなんだろう？と考えられるような遊具もあったら面白いなあと思う。(子どもは、自然にできた岩場だったり、大人の健康器具なんかも自由に楽しんだりしているので…)
女性	40代	小さい子は特に天候ですぐ風邪をひきます。室内と室外が隣同士で車で行ける所、子供だけだと危ない遊びをしていたり小さい子にぶつかったりと危険、転勤族島外から来た人たちはマウントとっているのかなあ？って思えるくらい五島なにもないディズニーやUSJの話をして子供が不愉快な思いもしています。難しいとは思いますが気軽に遊びに行ける所が出来るといいなあと思います。
女性	30代	都会にあるような遊具を参考にしたい。
女性	30代	体験型で、11月ぐらいにばらもん風を作るイベントがあったらいいなあと思います。他にも昔の遊びに触れ合えるイベントがあると年配の方との交流にも繋がっていいなあと思います。
女性	40代	・砂場
女性	30代	とにかく、雨の日でも行けて、思いっきり体を動かして疲れるようなもの。五島には新体操や体操クラブがないから、クラブの設立が無理ならせめて室内トランポリンとかあるといいと思う。
女性	30代	天気がいい日などは公園などがあるけど 雨の日に利用するところが増えてほしいと思う。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	ジオパークにある岩や五島に住む魚たちを見ることができるブースがあると五島らしさが出る施設となり、遠征や試合、旅行で来た島外の人たちにも興味を持ってもらえる施設になるのではないかなと思います。また、遊び場もですが子ども達の衣服や育児グッズを買う店がなく、あったとしても欲しいと思える商品がなく、ネット通販で購入することになり手間も時間もコストもかかっています。保育士として働いていますが、園児の9割は島外の店やブランドの物を出先で買ったりネットで購入している状況です。遊び場と一緒にお店があると本当に助かります。是非とも、検討お願いいたします。
女性	40代	子ども博のイベントは大反響だったと聞いた。そのような遊びが常設されたいと思う。
女性	40代	以前子供が利用した施設がとても楽しかったそうなので、全部は無理だとしてもネット遊具などがあると、どの年齢でも体を動かしながら楽しく遊べると考えます。 URLを記載いたします。 https://www.galaxcity.jp/assets/docs/about/leaflet2021.pdf
女性	30代	安全に体を思いっきり遊べるところがなく、長崎のあぐりの丘に出向くことがあります。五島でそのような施設があればと思います。異年齢の子供（年齢が上の子）の遊び方や体の使い方を見て真似して上手に体を使うことがあるため、子供同士のやり取りを親が見守る形で遊べるところがほしいです。兄弟児が3歳差のため、2人を見守れる距離がありがたいです。
女性	30代	人工芝などがあって、室内でスポーツができたり思いっきり体を動かせる場所があって欲しいです。
女性	50代	小さいバラモン風作りや竹馬、竹とんぼなど昔ながらの遊びや見学、作成も楽しいのではないかと。
女性	40代	色々な感触遊びや体全体を使った遊びなどを取り入れて欲しい。五島市で保育士として働いていますが…年々子供達の成長がゆっくりだなと感じます。そして、第一子の子供達は経験が不足していて家で遊んだり、幼い頃からYouTubeを見たりと将来が心配な子育てをしている保護者が多くいます。将来の五島を支える子供達がこのままではいけないと感じます！だから子供中心の施設を作っていただきたいです！
女性	40代	香川県のヤドン公園に遊びに行くととても良かったんですが、ああゆう感じで屋内の施設だったらいつでも遊べていいのになと思っていました。特に良かったのが、公園の中央にある大きな滑り台でした。コンクリートで出来たものは色んな公園で見かけましたが、滑ってみるとフカフカしててビックリしました。あれなら色んな年齢の子や親子でも遊べると思います。
女性	30代	3歳と5歳の子供がいます。実家が長崎なので、年に数回帰省しますが、毎回必ずあぐりの丘のあぐりドームへ予約して遊びに行きます。子供達のお気に入り、よく「行きたい！」とせがまれます。ドームで遊び終わったら、外の動物とのふれあいコーナーや遊具でも遊びます。
女性	30代	砂場などの家ではなかなかできない場所。トイレが綺麗に設備され、オムツやお尻拭きなどの荷物を多く持って行かなくても、その施設で自動販売機でもいいので売っているなどすると身軽にいけるので助かる。自動販売機の幼児用などが設置されれば(水、オムツ、お尻拭き、おやつ、飲み物など)車からの移動や、外出の際に色々と考えず施設を利用でき、すごいメリットがある。
女性	20代以下	おやつやおにぎりなど軽食が食べることができるスペースがある。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	公園すらも使えないままの状態であることが多い。他県の施設を参考にしながらいい施設ができれば喜ばれると思います。
女性	30代	2歳の娘が椿の種取りにとっても集中していたので、椿の種取り体験ができ、そこから色々な製品ができることを学べるブースがあるのも良いと思う。お口に入れない年齢以上かつ親同伴が対象で子供の集中力を養え、椿の種を沢山採取できる、お仕事の体験としてできると思う。五島のものを活かしたキッズニアのような擬似お仕事体験ができるのは良いのではと思う。
男性	30代	廃校になった学校などを活かして施設をつくれば良いと思います。 どの地域からでも来やすい場所が良いと思います。大浜とか監視員はいらず、人件費を削減させるために、保護者同伴型の施設にしたら良いと思います。
女性	30代	障害児(知的障害)、ADHDの子を育てています。思う存分体を動かせる遊具が嬉しいです また可能であれば健常児との問題を避けるため障害児スペースとして発達に詳しいスタッフ1人確保して頂きたいです。
女性	30代	月会費制 動物ふれあい広場 子どもの健康や成育の相談ができるブースがあったら良いと思う。
男性	30代	年齢別で遊具が分けてあり、安全が確保できるような仕切りがある。新しく施設を作るのではなく使われていない学校などの施設を改修して再利用する。
女性	30代	エアランドなどもあるといい
女性	20代以下	・五島は自然豊かなので、室内でも自然を感じられる空間がいいです ・でじま博みたいに、室内に色々な遊ぶエリアがあってほしいです ・子どもからのリクエストで、雲の上で遊んでいるような場所がほしいということです
女性	40代	五島市は渋滞などが無いので、市街地から少し離れた自然豊かな場所でも皆さん喜んで向かうと思います。その方が敷地面積もとれて、駐車スペースも自然体験ブースも取れるかと思います。五島市の魅力は海ですが、あんまり磯で遊んでいる子どもは少ないと思います。なので、カニ・イソギンチャク・ヤドカリなどと触れ合えるコーナーがあると楽しいかなと思います。先日、こどもでじまはくを五島でやっていただいてとてもありがたく、楽しませてもらったのですが、年齢が高いお子さんも来られていたり、子ども達だけで来ていたり、場が荒れたところもありました。なので、今回の施設については保護者同伴、有料は必須条件かなと思いました。
女性	30代	ぱっと目を離れた隙にいなくなるので、ドアや仕切りがあり、見守りやすい空間がいい。五島はやはり海なので砂遊びをもっと楽しく出来る場所が欲しい

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	よちよち歩きの1歳ごろの子供とそれ以上の元気に走り回る子どもとの遊び場は分けてほしい。でも両方に兄弟がいる場合に、片方は目が離せるようにスタッフがついてくれるか、両方が見れるような空間づくりをしてもらえるとすごく助かる。 また、遊ぶエリアの一部でもいいので飲食可能なエリアはある程度の広さで設けてほしい。飲食禁止にしてしまうと、遊びをいちいち中断しなければならず子どもが駄々をこねるので親が面倒を見るのが大変。トイレは子ども用ほしい。子どもが一人でも入れるようにしてほしい。おむつ替えスペース、授乳室は必須。大人がトイレする時に赤ちゃんや子供と入れるように、同じ個室の中に子どもを置ける柵付高さなしでスペースが欲しい。トイレの鍵は、大人がトイレをしている間、子どもが勝手に開けないように届かない高さにしてほしい。皆の要望叶えるのは大変かもしれませんが、理想の施設ができることを期待しています！
女性	40代	都市部の施設にある何歳以上なら子供だけの利用可だと良いと思う。 施設内に食事スペースや小さいコンビニがあるとより良い。
女性	40代	・子供用のトイレ
女性	30代	雨でも利用できるように屋内でアスレチックな遊び場があればと思います。
女性	30代	ケガ防止のため年齢で遊び方を区別してほしいです。
女性	30代	休みの日に、買い出しをしている最中など数時間でも預けていられると助かる親も一緒になって遊べる遊具もあると嬉しい
女性	20代以下	ベビーも安心して遊べるようにベビー専用の部屋があると嬉しいです。福岡のおもちゃの美術館がとても良い施設だと思いました。どんぐりやまつぼっくり、落ち葉など自然のものを使ったワークショップも五島らしくて魅力的だと思いました。
男性	30代	廃校になった学校の体育館等を有効活用して欲しい。 スタッフが必要な遊具（ウォールクライミング等）は土日だけなど、人件費をおさえられるような工夫もできるのでは。本件に積極的に協力してくれるような団体等にも声掛けして協力を仰ぎ是非実現していただきたいです。また、しょうもない市議会議員を減らして財源を、確保できないか？
女性	30代	低年齢の兄弟児がいる場合、年齢によって遊ぶ内容が変わるので1人は親が見守りながら遊ばせ、もう1人は職員の人が見守りながら遊ばせたら（お絵描きなど安全性の高い遊び）保護者が1人でも来やすくなると思う。授乳室、オムツ替えする場所が必要だと思います。0歳児でまだ利用できない子どもも来る事もあると思うので、バウンサーやただ転がせるスペースがあるといいと思います。
女性	30代	・雨風が防げて、夏の暑い時期でも安心して体を動かせる場所。 ・公園などは小学生等の大きな子が、遊具内で鬼ごっこ等して小さい子とぶつかりそうになるヒヤッとする場面がある為、そういった危険を回避できる様な場所？見守りスタッフみたいな方が居れば、安心かなと思います。 ・鬼岳や海の近くで、晴れた日などは近場で自然を楽しめる場所。
女性	30代	人が分散するような工夫。密集していると足を運ばなくなる。鉄棒が公園にないので鉄棒があると嬉しい。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
男性	40代	体操教室など身体を動かして、身体を動かす事を楽しめる場所 室内の広い場所で思いきり身体を動かせる施設
回答しない	40代	小動物とふれあいができる。乗り物がある。雨の日でも鉄棒が出来る。規模が小さくてもいいので、遊園地のような場所。
回答しない	30代	公園のように思い切り、図書館のように室内で、カフェのように少し休めるような、うまく合わさったスペースがあるといいな、と思うところです。五島にも、遊ぶ場所と一緒の場所に、子供はもちろん、大人も少しお茶ができるスペースがあれば、子供と大人同時に集まれるのにな、と、何度か思ったことがあります
女性	40代	現在、五島市の公園の遊具が使用禁止の物が多く休日の遊び場がない状態で、雨天時はシティーモールのゲームセンターの利用か、自宅でのDVD鑑賞、ゲームが主体になってることが多いので、できれば思いっきり体を動かせる場所があったらいいなと思います。体を動かすことを苦手とする子もいるので、ちょっと静かにままごとしたりして、他の子との関わりが持てる場所もあったら、保護者同士の関係ももてるし、いいかなと思います。料金については、無料が一番ですが、高額でなければ有料でも利用するのかなと思います。ゲームセンターでお金を使うよりはいいと思います。利用する場所によって、利用料の有無を考えてもいいかもしれません。自然も豊かな場所なので、遊びながらも、いろんな景色が見えるといいなと思います。大変なことですが、もしこれが実現できたら、五島市の子育てには、とてもプラスになると思うので、よろしくお願いします。
女性	30代	閉校した校舎などを用いて、地域の子どもたちが集まれる、賑やかな施設になればいいと思います。ただ、必ず大人がつくルールにするか、管理人がいるか、安全を確保できるようにしてほしいです。（子どもが走ってぶつかるなど、子ども同士での危険もあるので）小さい子が大きい子と同じ場で遊ぶとなると、特にそこが不安です。安全のため、施設の安全維持のためなど、お金を使う目的がしっかりあるなら、お金を少し払っても良いです。真ん中で大人が座っていて、周りで子どもが遊んでいる、常に子どもを見守れるような状況が理想です。雨の日に遊ぶところがなく、子どもがしっかり体力を使える、体力をつけられる施設があってほしいです。知育などの道具やおもちゃは、（お金はかかりますが）なるべく家で揃えようと思うので、それよりも、悪天候や、休みの日にしっかり体を動かせる、というところに重点を置いていただきたいです。家も狭く、十分に体を動かせるとは言い難いです…。よろしくお願いします。
女性	30代	車でアクセスがしやすく駐車場も十分な広さがあるとありがたいです。 ごとさんの喫茶スペースのように壁面に五島の風景（高浜や大瀬崎灯台など）が描かれていると子どもたちが五島の魅力に触れられるかと思います。
女性	30代	椿公園や、富江の太郎島、三井楽の万葉公園のように五島の海や山の眺めが、いい所に公園があったのはとても気持ちがよく、親子のびのび遊べました。また、たまに帰ってきた友達と子どもも一緒に遊べて五島の思い出となりました、そういった五島の思い出になるようなところができるといいなと思いました。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	40代	あぐりの丘のあぐりドーム、佐世保のメリッタキッズ、伊王島のヴィラ・オリンピカを利用したことがあります。どの施設も子供達は、時間いっぱい楽しみました。いずれも身体を動かす遊具が一番楽しかったようです。既存の施設を活用するのでしたら、伊王島のヴィラ・オリンピカのような施設が良いと思います。大人も楽しめました。利用者が自分で考えて移動するので、他の施設に比べスタッフも少なくなかったと思います。利用料も安く、さらに伊王島住民は無料という点も良かったです。
男性	40代	有料でいいのでしっかりした設備で思いっきり遊べる場を作してほしい。中途半端なものはいらない。五島にはキレイなトイレ、オムツ交換台、着替えられる場所、授乳室などが少ないため、ちゃんとしたのを整備してほしい。五島独自のもいいが他地域にある全天候型遊び場を参考に良い所を積極的に取り入れてほしい。遠足でお弁当を広げて食べるようなイメージの大人数が入っても余裕のある食事できるスペース。広く遊べる場、ボールやバドミントンなどちょっとしたスポーツできる場、おもちゃで遊べる場？アスレチック的な遊び場など、遊ぶ種類に応じてエリアが分かれていて自由に行き来でき1日いても飽きないような施設。
女性	40代	中央公園の体育館で開催された、こどもでじまはく。体全体使って遊べるものばかり全部良かったです！あのようなエアー系のものがあると、小さい子から大きい子まで遊べると思います。とにかく、お金はかかっていいので雨でも思い切り遊べる場所を作ってもらいたいです！雨でも遊べる場所をと毎回こういうアンケートにずっと書いてますが、なかなか実際反映されているのか疑問です。ぜひ実現していただきたいです。
男性	30代	全天候型施設があれば良いと思うが、多額の費用を掛けてまで整備する必要はないと思う。多額の費用をかけて整備するのであれば、器具等の耐用年数等を勘案した利用料を設定して欲しい。何でもタダで利用させるのは誤り。
女性	30代	こどもデジマ博のような遊び場が欲しい。（5歳児意見）
女性	30代	フリーマーケットやファーマーズマーケット、音楽イベントなどなど、色々な模様しものができる場所だと、大人も子供もお年寄りも集まれる場所になり、雨天の楽しみが出来、更に賑やかになるのではと思います！外にいるぐらい、おもいっきり、体を動かせるスペースがあると嬉しいです。 プールやクライミングなど、体験型のスポーツ施設があったら、習い事みたいにする事が出来たら良いですね（←こちらなどは有料タイプの場所があっても良いと思います。） 敷地の広さなど気にせず回答してしまいましたが、、素敵な空間が出来たら嬉しいです！
女性	20代以下	・廃校になって地域の小学校の体育館やグラウンドを利用してほしい。 ・新しい遊具などを置くにしても、お金の問題などがでてくると思うので、地域みんなで協力しながらの街づくりなどで、地域の輪をひろげていくなど。 ・家で不要になった、子供が遊ばなくなって、まだ使えるのに捨てるのが勿体無い、おもちゃや絵本、アンパンマンのブランコ付きジャングルジム、乗用玩具などを回収して、体育館で遊べる環境を作してほしい。 ・とくに、岐宿は、公園に遊具がなく、岐宿以外の地域に遊びに行かないといけない。学校が終わった後の子供達の遊び場がないので、そういった場をつくってほしいです。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	年齢層は分けて欲しい 5歳以下と小学校以上と一緒にされると巻き込まれるかもしれないとか遠慮して十分に遊べない 小学校高学年になれば体も大きいし5歳以下の子がぶつかられたり自由に走り回られてると目を離せないから怖い 安全性を確保してほしい 兄弟児がいる所は大変だと思うので部屋を分けるとかエリアを大きく分けるとか工夫をして欲しい 五島は自然が豊だから保育園児や幼稚園児0~2歳児でも自然に触れれる活動もあれば嬉しい 現在ある活動も情報が入らないから終わった後に知ることが多いのでお店などにポスター掲示してもらえればありがたい
女性	30代	雨の日でも車から降りて入口まで出来るだけならないで済むような駐車場がいいです。あとはアクアリウムが少しあると子ども達も喜ぶと思います。トランポリンや坂を登ったり、身体の力を使うようなアスレチックもあったらいいなと思います。絵本も読めて、年齢別に遊べるのもいいと思います。月齢年齢が同じ子ども同志の方が親も安心して遊ばせることができると思います。あとはお菓子づくりや、お仕事体験など子どもの経験を増やす場になればいいなと思います。
女性	30代	五島は自然だらけだから都会の遊び場ぽい感じがいいです。
女性	30代	五島には子供の遊び場が公園くらいしかないので、とにかくたくさん体を動かして遊べる施設が一つでもあったらいいな思っています。家の中でYouTubeやゲームといった遊びでは発育にも影響するので、遊び場は必要だと思います。
女性	30代	親への情報発信の場となっても良いと思う。
女性	20代以下	年齢別で利用場所を分けるなど小さい子供でも安全に遊べる場所がほしい。 キッズメニューが豊富な食事施設が併設されていると通いやすい。（島内にキッズメニューがある食事施設が少ない）
女性	30代	無料で遊べたら1番いいですが、混み合うとゆっくりも遊べないと思うので時間制で有料でも仕方ないかなと考えます。値段にもよります。あとは同じ施設内でイベントや体験講座などあれば楽しいと思います。そうしたら観光客の方も利用するのではと思います。
女性	30代	飲食できる場所があればありがたい。（持ち込み可）予約式とかでもいいのかな？と思う
男性	30代	1箇所に集中せず、どの世代も楽しめるように、持ち込み制にして、飲食スペースを作って欲しい
女性	30代	五島の自然を見渡せるような大きな窓や、季節によっては水遊びができるような遊び場だと一層素敵だと思います。
男性	30代	有料エリアと無料エリアがあるといいと思う クラウドファンディングするとかで資金調達して内容充実して欲しい 有料施設にして、クラファンのお返しに年間パスを配るとか
女性	20代以下	・消耗品から備品までのレンタルサービス（有料可）があれば荷物も少なく兄弟連れで行けるから助かる。 ・遊び場と併設して小さい子供と気軽に入れる食堂またはイートインスペースが欲しい。（小さい子どもと気軽に入れる飲食店が少ない）

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	40代	ラウンドワンのような、小さい子から大人まで楽しめる施設
女性	30代	年齢ごとに遊び場が分かれていて欲しい。雨の日に遊びに行けるところがなかったから、このような施設ができるのはとても嬉しいです。
女性	30代	神戸市から転居してきました。徒歩圏内にこべっこランドという施設が新設され、何度も助けられました。非常によく考えられた施設で、子供達も帰りたくない程、夢中で遊んでいました。高学年でも楽しめるような、PCでプログラミングを学べる場所もあったり、大人も勉強になりました。しかも無料でした。このような施設があったらいいな、とずっとずっと思っていて、こうして検討して下さいっていると知り、嬉しい限りです。アンケートを答える機会を下さり、ありがとうございます。応援しておりますので、早急にお願いします！！
女性	30代	アスレチック、造形スタジオ、音楽スタジオがあるといいと思います。施設を散策可能なエリアに作ることで、晴天時には、自然の資源を活用した遊びに発展させられたら、雨天時のみならず、いつでも活用出来ると思います。遊び方も教えてあげられると、自然豊かな五島ならではの育児になるのではないかと思います。施設周辺は日常的に利用するような大きな生活道路がないことが望ましいです。五島の人って結構スピード出して走るの、交通事故が心配です。遊びに集中出来る環境であることを望みます。
女性	30代	親子で一緒に遊べるが、預けることもできる。 スマホから予約ができる。もしくは利用状況などが見られる。もし予約制の場合、屋外スペースもあり、そこは予約なしで遊べるなど、急に利用せざるを得ない時、遊べる場所もあれば嬉しい。 食事わざわざ準備して来なくても良いように、ちょっとした売店がある。（軽食を買える、少しだけ五島土産も売ってる（かんころもちなど、五島の名産品のおやつ））もしくは、お店が近くにある。 五島のキャラクター（つばきねこなど）が各所にいるなど、五島のキャラクターを覚えるきっかけにもなってほしい
女性	30代	・観光施設にもなる施設である方が持続可能かと思います 例) 沖縄こどもの国 ・五島市の自然を生かした体験施設であってほしいです 海洋科学水族館+全天候釣り堀+お食事処 ・子どもも大人も全世代が楽しめる場所であってほしいです 高浜の海のような屋内波プール、キッズプール、温泉スパ (たっしやランドのリニューアル?) 例) リゾナーレハケ岳のプール「イルマーレ」、伊王島のアークランドスパ 子どもはもちろん、保護者も一緒に楽しめる場所であってほしいです^^
女性	30代	ベビースペースや体育館など、0歳から小学校低学年まで遊べる施設であると良いです。 雨の日や保育園が休みの日に体を動かせる場所がないのが悩みだったので、とにかく体を思いっきり動かせるような施設ができることを望みます。 また食事スペースやカフェスペースがあることで、他者と交流や親睦を深めることができると嬉しいです。

(2) 市民アンケート（自由意見） アンケート 4-⑪「全天候型の子どもの遊び場についてどのような機能があればよいと考えますか？」

		全天候型の子どもの遊び場について
女性	30代	安全で大型の遊具があっても天候が悪くても体を使って遊べる場所があると嬉しいです。 廃校になった学校の体育館などを利用したら良いと思います。 また障がいを持った子と車椅子で安心して散歩できる場所が併設しているとさらに嬉しいです。
女性	30代	現在公園は、使用禁止なども目立ち、遊具も古くてなかなか利用できません。三井楽・富江は、新しい遊具になり羨ましいなと思います。上五島に、旧小学校を利用した施設ができたテレビで拝見しました。同じような施設があれば、遊び場も増えて子供も喜び、子育てしやすい五島市になると思います。
男性	30代	長崎伊王島にある施設を利用したとき、カビ？の臭いが気になったので、衛生面を大切にしたい。大きい子と小さい子では動きの激しさが違い、接触しないよう、工夫が欲しい。（他人の子どもを注意できませんので…） 新しく建てるより、廃校や奥浦の焼却場を使うなどしてコストを下げ、その分、内容を充実して欲しい。一度しか使わず、リピートしたいと思えないような内容ならもったいないです。